



3800g

バーコードリーダー



powered by
Adaptus™
imaging technology

ユーザーズガイド 日本語版

株式会社エイポック
〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1
ナイス第 2 ビル
Tel: 045-508-5201
<http://www.a-poc.co.jp/>
3800gUG Rev.A / JP 1.05 / Sep 2010

はじめに

本マニュアルについて

本書は3800gの「User's Guide」(英語版)から、よく使う機能を抜粋したものです。

本書では、3800gの設置とプログラム設定の手順について説明しています。

3800gバーコードリーダーは、工場出荷時に一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。

設定の変更が必要な場合は、本書に記載の設定用バーコードを読み取ってプログラム設定してください。

設定用バーコードにアスタリスク(*)が付いている場合は、初期設定であることを示します。

設定は3800gバーコードリーダー本体に保存されます。また、設定は電源を切った後も保存されています。

製品の確認

3800gが梱包されている箱を開けた後は、以下の手順に従ってください。

- ・ 中身をチェックし、注文したものがすべてあるか確認します。
- ・ 後で保管または発送するときのために出荷用の箱はとっておきます。
- ・ 出荷中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、配送した運送会社にすぐに連絡してください。

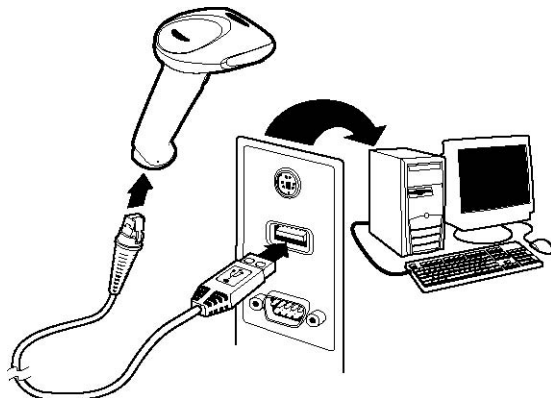
3800gシリーズの型番

型番	インターフェース	付属品
3800G04E-USB	USB	USBインターフェースケーブル
3800G04E-KB	PS/2キーボードインターフェース (キーボードウェッジ)	PS/2キーボード分岐ケーブル

USBで接続する方法

1. 3800gをコンピュータに接続する

- (1) 付属のUSBインターフェースケーブルを3800gに接続し、USBインターフェースケーブルをコンピュータに接続します。



- (2) ドライバが自動的にインストールされ、3800gからブザー音がします。
(3) 付録の**サンプルシンボル**からバーコードを読み取り、3800gの動作を確認してください。

2. USB インターフェース デバイス クラス(ターミナル ID)を設定する

3800g の USB は次の 2 種類の USB デバイスクラスを設定できます。

- ・ USB キーボード エミュレーション (USB キーボードインターフェース) [USB-HID]
- ・ USB COM ポート エミュレーション [USB-COM]

目的の USB デバイスクラスに該当する設定用バーコードを読み取ります。

初期設定 = USB PC キーボードエミュレーション - USA キーボードレイアウト (ターミナル ID : 124)

USB キーボード エミュレーション

以下のバーコードをどれか読み取り、3800gをUSBキーボードエミュレーションにプログラム設定します。

同時に、ターミナルIDが設定されます (USB USAキーボードは124、USB 日本語キーボードは134、USB USAマッキントッシュキーボードは125)。



*USB Keyboard(PC)
USB USA キーボード



USB Keyboard(MAC)
USB USA キーボード配列 (Mac)



USB Keyboard(PC, Japan)
USB 日本語キーボード

USB COM ポート エミュレーション

3800gで通常のRS-232 COMポートをエミュレーションするようにプログラム設定するときは、次のバーコードを読み取ります。Microsoft Windowsのコンピュータをお使いの場合は、ハネウェル社（旧ハンドヘルドプロダクツ社）のウェブサイト（<http://www.honeywellaidc.com/>）からドライバをダウンロードする必要があります。



~ T E R M I D 1 3 0 .
USB COM Port Emulation
USB COM ポートエミュレーション

注意：USB COM ポート エミュレーションについては巻末の付録もご参照ください。

重要 スキャナの取り外しについて

USB COMポートエミュレーションに設定したスキャナのUSBケーブルををコンピュータから取り外す場合は、**先にコンピュータの通信ポート「COM」をクローズ（切断）してください。**スキャナの読み取りデータを入力するアプリケーションを実行しているときは、COMをオープン（接続）したままで取り外さないでください。

コンピュータの仕様上、COMがオープン（接続）したままでデバイスを取り外すと、コンピュータやアプリケーションのエラーが発生することがあります。

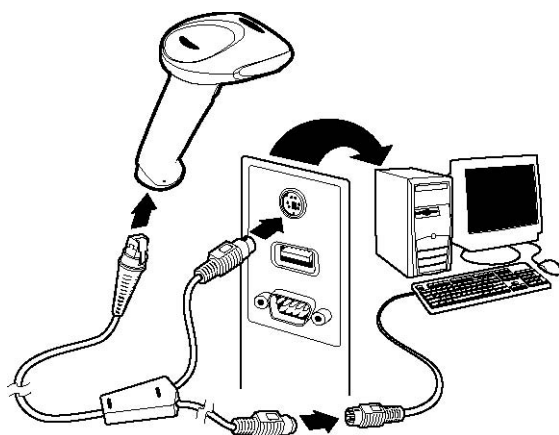
COMをクローズする方法はコンピュータの環境（スキャナのデータを入力するアプリケーション）に依存しますのでシステムご担当者などにお問い合わせください。例えば次の手順でCOMをクローズします。

- ・ アプリケーションからCOMポートをクローズする。（アプリケーションの画面にCOMクローズのボタンなどがある環境）
- ・ スキャナを使用するアプリケーションを終了してCOMをクローズ（切断）してください。（アプリケーション本体またはアプリケーション中のデータ入力画面の終了とともにCOMをクローズする環境）

PS/2キーボードインターフェースで接続する方法

1. 3800gをコンピュータに接続する

- (1) コンピュータの電源をオフにします。
- (2) コンピュータからキーボードケーブルをはずします。
- (3) PS/2キーボードインターフェースケーブルを3800gおよびコンピュータに接続します。
- (4) コンピュータの電源をオンにします。3800gからブザー音がします。



2. インターフェース(ターミナル ID)を設定する

注意：3800gの出荷時の設定はUSBです。

- (1) PS/2 キーボードインターフェースで接続する場合は次のバーコードを読み取ります。



~ T E R M I D 1 0 2 .

PC/AT(PC)
PS/2 日本語キーボード

- (2) 付録の**サンプルシンボル**からバーコードを読み取り、3800gの動作を確認してください。

読み取り方法

3800G は水平方向に対応する明るい赤い照準光を持っています。

照準光はバーコードに対し水平にし、バーコードの中心をねらってください。

他の方向に照準光があると、読み取りません。



ほとんどのコード密度を読むための最も良い焦点ポイントが読み取りウィンドウからおよそ 12.7cm 離れたところにあります。3800g とバーコードの間に適切な距離をとり、照準光をバーコードの中心にあててトリガースイッチを引いてください。

標準の製品初期設定に戻す方法

お使いの3800gのプログラミングオプションがわからない場合や、変更したオプションを標準の製品初期設定に戻したい場合は、次のStandard Product Default Settingsのバーコードを読み取ります。



Standard Product Default Settings

標準の製品初期設定

プログラミングページのアスタリスク (*) は標準の製品初期設定を示しています。

ターミナルインタフェース

ターミナルID

お使いのインターフェースが標準のPC/ATでない場合は、2-2～2-3ページのサポートターミナルを参照し、お使いのコンピュータのターミナルIDナンバーを確認してください。下のターミナル IDのバーコードを読み取り、次にプログラミングチャートから数字バーコードを読み取り、そのターミナルIDに合わせて3800gを設定します。最後にSaveを読み取り、設定を保存します。

例えば、IBM ATターミナル(USA)のターミナルIDは003です。ターミナル IDのバーコードを読み取り、プログラミングチャートから0,0,3を読み取った後、Saveを読み取ります。数字の読み取りを誤った場合は(Saveを読み取る前に)、プログラミングチャートからDiscardバーコードを読み取り、ターミナル IDのバーコードを読み取り、数字を読み取り、Saveバーコードを再度読み取ります。



~ T E R M I D .

Terminal ID
ターミナル ID



~ M N U S A V .

Save
保存して終了

注：これらのバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

サポートされるターミナル (端末)

ターミナル	機種	ターミナル ID
DEC	VT510, 520, 525 (PC style)	005
DEC LK411)	VT510, 520, 525 (DEC style	104
Esprit	200, 400	005
Heath Zenith	PC, AT	003
HP	Vectra	003
IBM	XT	001
IBM	PS/2 25, 30, 77DX2	002
IBM	AT, PS/2 30-286, 50, 55SX, 60, 70, 70-061, 70-121, 80	003
IBM 102 key	3151, 3161, 3162, 3163, 3191, 3192, 3194, 3196, 3197, 3471, 3472, 3476, 3477	006
IBM 122 key	3191, 3192, 3471, 3472	007
IBM 122 key	3196, 3197, 3476, 3477, 3486, 3482, 3488	008
IBM 122 key	3180	024
IBM 122 key	3180 data entry keyboard	114
IBM DOS/V 106 key	PC & Workstation	102
日本語キーボードレイアウト		
IBM SurePOS	USB Handheld Imager	128
IBM SurePOS	USB Tabletop Imager	129
IBM Thinkpad	360 CSE, 340, 750	097
IBM Thinkpad		106
IBM Thinkpad	365, 755CV	003
I/O 122 key	2676D, 2677C, 2677D	008
ITT	9271	007
Lee Data	IIS	007
NEC	98XX Series	103
Olivetti	M19, M200	001
Olivetti	M240, M250, M290, M380, P500	003
RS-232 TTL		000
Silicon Graphics	Indy, IndigoII	005
Telex 88 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	025
Telex 88 key	Data Entry Keyboard	112
Telex 102 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	045

サポートされるターミナル(端末) 続き

ターミナル	機種	ターミナル ID
Telex 122 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191,1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1482, 1483	048
USB PC Keyboard (USA USB キーボードレイアウト)		124 *
USB Mac Keyboard		125
USB Com Port		130
USB HIDPOS		131
USB PC Keyboard (日本語 USB キーボードレイアウト)		134

* 3800gの初期値

キーボードスタイル

Caps LockやShift Lockなどのキーボードスタイルを設定します。 初期設定 = Regular

レギュラー : Caps Lockキーがオフの場合は、Regularを使用します。

キー入力が英小文字の場合、3800gのバーコード入力は英大文字になります。



*Regular

Caps Lock : Caps Lockキーがオンの場合は、Caps Lockを使用します。

キー入力が英大文字の場合、3800gのバーコード入力は英大文字になります。



Caps Lock

Shift Lock : Shift Lockキーがオンの場合は、Shift Lockを使用します。(U.S.キーボードでは通常使いません。)



Shift Lock

オートマチックCaps Lock : (ATおよびPS/2のみ) Caps Lockキーのオン/オフを切り換える場合は、Automatic Caps Lockを使用します。Caps Lockキーをオン/オフするとソフトウェアが確認して対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lockの状態を確認するLEDがあるシステムの場合だけです。



Automatic Caps Lock
オートマチック Caps Lock

Auto caps via Num Lock : Caps Lockの切り換えにCaps Lockキーを使用できない国(ドイツ、フランスなど)では、Auto caps via Num Lockのバーコードを読み取ります。Num Lockオプションは、通常のAuto capsと同じ働きをしますが、Caps Lockの現在の状態を確認するためにNum Lockキーを使用します。



Auto caps via Num Lock

外付けキーボードのエミュレーション：外付けキーボード（IBM ATまたは相当品）を使用していない場合は、Emulate External Keyboardを読み取ります。



注：Emulate External Keyboardのバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

キーボードの設定

CTRL+ASCIIコード、ターボモードなどの特殊なキーボード機能を設定します。

Control+ASCII モード：00~1Fの値については、ASCII制御キャラクタ用にキーを組み合わせで送信します。CTRL+ASCIIの値については、9-1ページの「[キーボード機能の関係](#)」を参照してください。

初期設定 = Off



Control+ASCII Mode On
Control+ASCII モード 許可



* Control+ASCII Mode Off
Control+ASCII モード 禁止

ターボモード：ターミナルへのキャラクタ送信を高速化します。ターミナルでキャラクタの読み落としがある場合は使用しないでください。初期設定 = Off



Turbo Mode On
ターボモード 許可



*Turbo Mode Off
ターボモード 禁止

テンキー入力モード：バーコードの数字キャラクタをテンキーで入力したように数字を送信します。

初期設定 = Off



Numeric Keypad Mode On
テンキー入力モード 許可



*Numeric Keypad Mode Off
テンキー入力モード 禁止

Automatic Direct Connect Mode : IBM AT型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。初期設定 = off



Automatic Direct Connect Mode On



* Automatic Direct Connect Mode Off

出力

グッドリードインジケータ（正読通知）

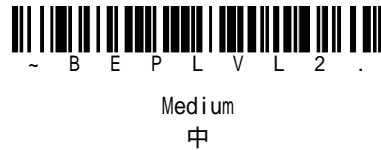
ブザー - グッドリード

ブザーは、グッドリードに対応してオンまたはオフに設定できます。このオプションをオフにすると、グッドリード表示へのブザー応答だけをオフにします。エラーおよびメニューのブザーはまだすべて聞こえます。 初期設定 = 0n



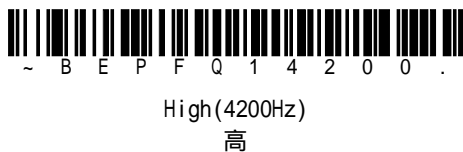
ブザー音量 - グッドリード

グッドリードで3800gが発生するブザーの音量を変更します。初期設定 = High



ブザーピッチ - グッドリード

グッドリードで3800gが発生するブザー音のピッチ（周波数）を変更します。 初期設定 = Medium



ブザー長 - グッドリード

グッドリードで3800gが発生するブザー音の長さを変更します。 初期設定 = Normal



*Normal
普通



Short
短い

LED - グッドリード

LEDインジケータは、グッドリードに対応してオンまたはオフに設定できます。

初期設定 = 0n



*0n
許可



Off
禁止

ブザー回数 - グッドリード

グッドリードのブザー回数を1~9に設定できます。グッドリードに対応し、ブザーとLEDに同じブザー回数
が適用されます。例えば、このオプションをブザー5回に設定すると、グッドリードに対応してブザーが5
回鳴り、LEDが5回点滅します。ブザーとLEDの点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、
次のバーコードを読み取り、次にプログラミングチャートから数字(1~9)バーコードとSaveバーコード
を読み取ります。 初期値 = 1



Number of Pulses
ブザー回数

グッドリードディレイ(正読遅れ)

別のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。 初期設定 = No Delay



*No Delay
遅れ無し



Short Delay (500msec)
短



Medium Delay (1000msec)
中



Long Delay (1500msec)
長

ユーザー指定のグッドリードディレイ

グッドリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、プログラミングチャートから数字を読み取ってディレイ（0～30,000ミリ秒）を設定し、最後にSaveを読み取ります。



User-Specified Good Read Delay
ユーザー指定のグッドリードディレイ

トリガーモード

マニュアル/シリアル トリガー

トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて、3800gを動作させることができます。マニュアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るかトリガーを放すまで読み取りをします。

シリアルモードのときは、バーコードを読み取るか停止コマンドが送信されるまで読み取りをします。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるように3800gを設定することもできます。（この後の「[リードタイムアウト](#)」を参照）



*Manual/Serial Trigger
マニュアル/シリアル トリガー

リードタイムアウト

3800gをトリガーするためにシリアルコマンドを使用しているとき、またはマニュアルトリガーモード場合は、この設定でトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。3800gがいったんタイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを使って動作させることができます。Read Time Outのバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってタイムアウト時間（0～300,000ミリ秒）を設定し、次にSaveを読み取ります。 初期値=0（無限またはタイムアウト無し）



Read Time-Out
リードタイムアウト

オートマチックトリガー（連続点灯）

3800g は読み取り照明を点灯し続け、常にバーコードをスキャンします。



Automatic Trigger
オートマチックトリガー

プレゼンテーションモード（ハンズフリーモード、自動点灯）

室内照明によってバーコードを検知し、自動的に 3800g の照明が点灯してバーコードを読み取ります。

3800g をハンドフリースタンドに設置するときに設定すると便利です。

プレゼンテーション モードは室内照明が不十分な場合は利用できないことがあります。



Presentation Mode
プレゼンテーションモード

照準光持続モード（ねらい読み）

複数のバーコードが近接している場合に便利な機能です。オンは 3800g の照準光をバーコードにかざしただけでは読み取りません。トリガーを押したときのみバーコードを読み取ります。オフは 3800g の照準光をバーコードにかざすとすぐに読み取ります。



Continuous illumination Mode On
照準光持続モード（ねらい読み） 許可



*Continuous illumination Mode Off
照準光持続モード（ねらい読み） 禁止

ハンズフリー タイムアウト

スキャンスタンドおよびプレゼンテーションモードは、「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、3800gがマニュアルトリガーモードのままの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かなければ）、元のハンズフリーモードに戻ります。

ハンズフリータイムアウトのバーコードを読み取り、プログラミングチャートからタイムアウト時間（0～300,000ミリ秒）を読み取り、次にSaveを読み取ります。初期値 = 5,000ms



~ T R G P T O .

Hands Free Time-Out
フリー タイムアウト

リリードディレイ

同じバーコードを2回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。リリードディレイを設定することで、同じバーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、POS (Point of Sales) での再読み取りエラーを最小限にするのに効果があります。バーコードの繰り返し読み取りが必要な用途では、ディレイを短くします。

初期設定 = Short

リリードディレイが動作するのは、**プレゼンテーションモード**のときだけです。



~ D L Y R R D 5 0 0 .

*Short (500msec)
短



~ D L Y R R D 7 5 0 .

Medium (750msec)
中



~ D L Y R R D 1 0 0 0 .

Long (1000msec)
長



~ D L Y R R D 2 0 0 0 .

Extra Long (2000msec)
最長

ユーザー指定のリリードディレイ

リリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ（0～30,000ミリ秒）を設定し、最後にSaveを読み取ります。



~ D L Y R R D .
User-Specified Reread Delay
ユーザー指定のリリードディレイ

センタリング（中央寄せ）

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用して3800gの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります。

センタリング 許可を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの左右いずれかを変更します。次にプログラミングチャートにある数字を用いて、センタリングウィンドウを移動するパーセンテージを読み取ります。その後Saveを読み取ります。

初期設定センタリング：左が40%、右が60%



Centering On
センタリング 許可



*Centering Off
センタリング Off

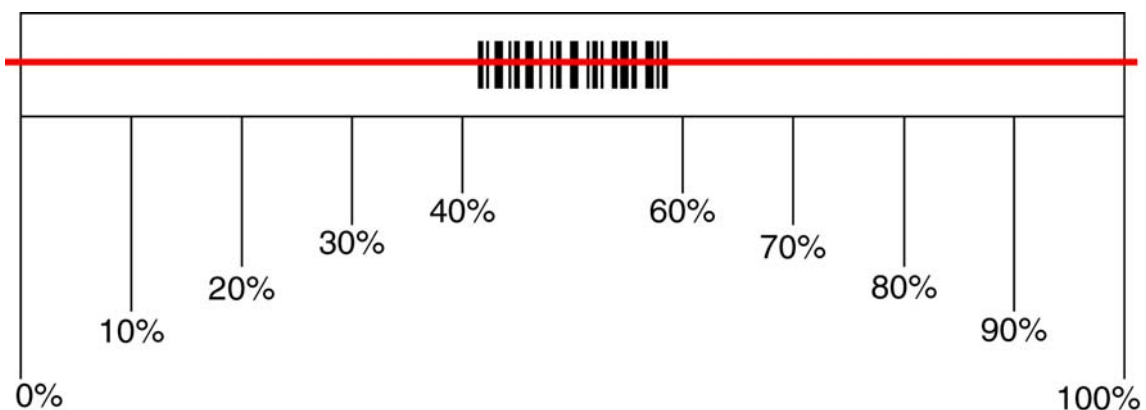


Centering Left
センタリング 左



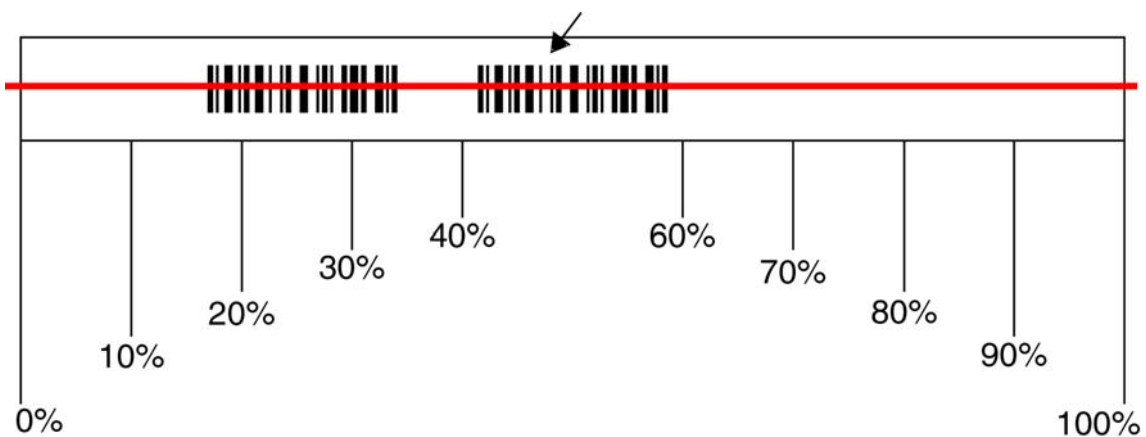
Centering Right
センタリング 右

下記の図は読み取り範囲の1~100%を示しています。



例：2つのバーコードが隣に並んでいる場合、センタリング左を40%に、センタリング右を60%に設定すると、センタリングウィンドウの範囲にかかったバーコードのみをデコードします。

デコードする



アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンスの要求

禁止に設定すると、バーコードデータは3800gがデコードしたままホストに出力されます。許可条件は必要に設定した場合、すべての出力データは設定したシーケンスどおりでなければなりません。合っていないければ、3800gは出力データをホスト機器に送信しません。

注意：この設定は、マルチプルシンボル選択が許可のときは使用できません。

アウトプットシーケンスエディタ

この設定により、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションで必要な任意の順序でもデータを出力するように（複数のシンボルを読み取る時）3800gを設定できます。Default Sequenceのバーコードを読み取ると、下記の汎用値に3800gを設定します。これが初期設定になっています。Default Sequenceのシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注：アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションで必要なコードID、コード長、およびキャラクタマッチを知る必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらのオプションを読み取ってください。

アウトプットシーケンスを追加する

1. Enter Sequenceのバーコードを読み取ります。

2. コードID.

A-1ページの[シンボルチャート](#)で、アウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルを確認します。シンボルのHex値を確認し、プログラミングチャートから2桁のHex値を読み取ります。

3. コード長

このシンボルで可能なデータ出力の長さ（最大9,999キャラクタ）を指定します。プログラミングチャートから4桁のデータ長を読み取ります。（注：50キャラクタは0050と入力します。9999は汎用の数字で、すべての長さを示します。）

4. キャラクタマッチシーケンス

付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)で、マッチさせたいキャラクタを表すHex値を確認します。プログラミングチャートを使用し、ASCIIキャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。（99は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。）

5. アウトプットシーケンスエディタの終了

追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときはFFを読み取ります。またはSaveを読み取って入力を保存します。

他のプログラミング設定

・ Discard (中止)

アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンスエディタ



~ S E Q B L K .

Enter Sequence
シーケンス設定開始



~ S E Q D F T .

Default Sequence
シーケンス初期値

アウトプットシーケンスの要求

アウトプットシーケンスが**許可 条件は必要**のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合っていない場合は、3800gは出力データをホスト機器に送信しません。**許可/条件は不要**のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

禁止にすると、バーコードデータは3800gがデコードしたままホストに出力されます。

注：この設定は、マルチプルシンボル選択がオンになっているときは使用できません。



~ S E Q _ E N 2 .

Required
許可 条件は必要

例：Code39 と Code128 にシーケンス設定した際、条件以外のバーコードを読み取りません。JAN や Codabar (NW-7) は読み取りません。



~ S E Q _ E N 1 .

On/Not Required
許可/条件は不要

例：Code39 と Code128 にシーケンス設定した際、条件以外のバーコードは単独で読み取ります。JAN や Codabr (NW-7) は読み取ります。



~ S E Q _ E N 0 .

*Off
禁止

アウトプットシーケンスの例

この例では、Code 93、Code 128、およびCode 39のバーコードを読み取りますが、下記のようにCode 39、Code 128、Code 93の順に出力できます。

注意：この例を使用するときは、Code39、Code 93、Code128をかならず読み取り許可に設定してください。



次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

```
SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF
```

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

62 Code 39のコードID

9999 Code 39の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

41 Code 39に対応するスタートキャラクタ、41h="A"

FF 最初のコードの終了ストリング

6A Code 128のコードID

9999 Code 128の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

42 Code 128に対応するスタートキャラクタ、42h="B"

FF 2番目のコードの終了ストリング

69 Code 93のコードID

9999 Code 93の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ

43 Code 93に対応するスタートキャラクタ、43h="C"

FF 3番目のコードの終了ストリング

マルチプルシンボル（連続読み）

このプログラミング設定を許可にすると、3800gのトリガーを引き続けて複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま複数のシンボルをエイミングすると、各シンボルを1回ずつ読み取り、そのつどブザーが鳴ります（オンの場合）。3800gは、トリガーを引いている間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。このプログラム設定を禁止にすると、エイミングビーム（読み取り照明）に最も近いシンボルだけを読み取ります。



~ S H O T G N 1 .

On
許可



~ S H O T G N 0 .

*Off
禁止

No Read

No Readを許可にすると、3800gはコードを読み取れない場合に知らせます。コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Readを禁止にすると「NR」は表示されません。



~ S H W N R D 1 .

On
許可



~ S H W N R D 0 .

*Off
禁止

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、[データフォーマット](#)（5-5ページ）で出力メッセージを編集できます。No ReadシンボルのHex値は9Cです。

ビデオリバーズ(白黒反転バーコードの読み取り)

ビデオリバーズを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。次の「Off」バーコードは、この種のバーコードの例です。別のメニュー操作が必要な場合は、ビデオリバーズを禁止にしてメニューバーコードを読み取り、メニュー操作が終了してから再度有効にしてください。



~ V I D R E V 1 .

On
許可



*Off
禁止

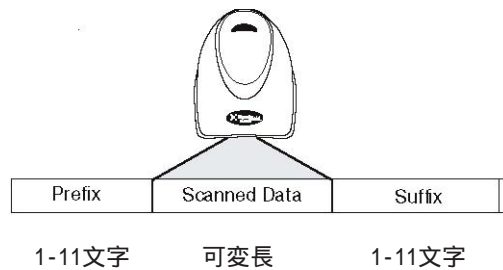
注意：ビデオリバーズについては付録の補足説明もご参照ください。

データ編集

プリフィックス/サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザー定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザー定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プリフィックスとサフィックスのキャラクターは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクターです。全シンボルと送信するか、特定シンボルとだけ送信するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- ・ 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。 初期設定プリフィックス = None 初期設定サフィックス = None
- ・ プリフィックスやサフィックスは、1シンボルまたは全シンボルに追加/削除できます。
- ・ 付録ページのASCII換算チャート(コードページ1252)のプリフィックスやサフィックスは、どれでもコードIDやAIM IDといっしょに追加できます。
- ・ 1回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- ・ 出力で表示したい順にプリフィックスとサフィックスを入力してください。

プリフィックスまたはサフィックスの追加手順

1. Add PrefixまたはAdd Suffixのバーコードを読み取ります。
2. シンボルチャート（付録Aにあります）からプリフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの2桁のHex値を確認します。例えば、Code 128の場合、コードIDは"j"、Hex IDは"6A"です。
3. プログラミングチャートから2桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は9, 9と読み取ります。
4. 付録ページのASCII換算チャート（コードページ1252）から、入力したいプリフィックスまたはサフィックスのHex値を確認します。
5. 本書の裏表紙の内側のプログラミングチャートから、確認した2桁のHex値を読み取ります。
6. プリフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとに手順4と5を繰り返します。
7. コードIDを追加するときは、5, C, 8, 0を読み取ります。AIM IDを追加するときは、5, C, 8, 1を読み取ります。バックスラッシュ（ ¥ ）を追加するときは、5, C, 5, Cを読み取ります。

注：手順7でバックスラッシュを追加するときは、5Cを2回読み取ってください。1回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

8. Saveを読みとって保存/終了するか、Discardを読み取って保存せずに終了します。

別のシンボルにプリフィックスまたはサフィックスを追加するときは、手順1～6を繰り返します。

例：サフィックスを特定のシンボルに追加する場合

CR（キャリッジリターン）サフィックスをUPCだけに送信するには

1. Add Suffixを読み取ります。
2. シンボルチャート（付録Aにあります）からUPCの2桁のHex値を確認します。
3. プログラミングチャートから6, 3を読み取ります。
4. 付録ページのASCII換算チャート（コードページ1252）から、CR（キャリッジリターン）のHex値を確認します。
5. プログラミングチャートから0, Dを読み取ります。
6. Saveを読みとるか、Discardを読み取って保存せずに終了します。

1つまたはすべてのプリフィックスまたはサフィックスの削除

シンボルのプリフィックスまたはサフィックスを1つまたはすべて削除できます。プリフィックス(サフィックス)を1つ削除するときは、選択したキャラクタを希望のシンボルから削除します。全プリフィックス(サフィックス)を削除するときは、シンボルのプリフィックスまたはサフィックスをすべて削除します。

1. Clear One PrefixまたはClear One Suffixのバーコードを読み取ります。
2. シンボルチャート(付録Aにあります)から、プリフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの2桁のHex値を確認します。
3. **プログラミングチャート**から2桁のHex値を読み取ります。全シンボルの場合は9, 9を読み取ります。

この変更は自動的に保存されます。

キャリッジリターン(Enter)サフィックスを全シンボルに追加する

キャリッジリターン(Enter)サフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



~ V S U F C R .
Add CR Suffix All Symbolologies

キャリッジリターン (CR) サフィックスをすべてのシンボルに追加する

注意 1: USB キーボードエミュレーション、PS/2 キーボードインターフェースでは、キャリッジリターン (CR) は **Enter** として出力されます。

注意 2: **Tab** サフィックスについては付録ページの「よく使う設定」をご参照ください。

プリフィックスの設定



~ P R E B K 2 .
Add Prefix
プリフィックス追加



~ P R E C L 2 .
Clear One Prefix



~ P R E C A 2 .
Clear All Prefix
全プリフィックス削除

サフィックスの設定



~ S U F B K 2 .

Add Suffix
サフィックス追加



~ S U F C L 2 .

Clear One Suffix



~ S U F C A 2 .

Clear All Suffix
全サフィックス削除

ファンクションコード送信

この設定が有効で、読み取ったデータにファンクションコードが含まれていると、3800gはそのファンクションコードをターミナルに送信します。これらのファンクションコードは、「[サポートされているインタフェースキー](#)」に記載されています。キーボードウェッジ・モードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。 初期設定 = Enable



~ R M V F N C 0 .

*Enable
許可



~ R M V F N C 1 .

Disable
禁止

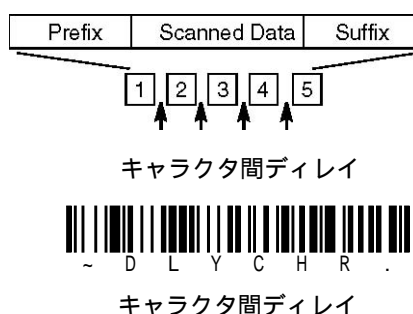
キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くしますが、データはより完全になります。

各ディレイは5ミリ秒単位で設定します。0～495msの範囲で最大99ステップ（1ステップ：5 ms）までプログラム設定できます。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大495ミリ秒のキャラクタ間ディレイを設定できます。次のキャラクタ間ディレイのバーコードを読み取り、[プログラミングチャート](#)でミリ秒単位の数字とSaveのバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、Intercharacter Delayのバーコードを読み取り、次にステップ数を0に設定します。[プログラミングチャート](#)でSaveのバーコードを読み取ります。

ユーザー指定のキャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大495ミリ秒のキャラクタ間ディレイを設定できます。次のDelay Lengthのバーコードを読み取り、[プログラミングチャート](#)でミリ秒単位の数字とSaveのバーコードを読み取ります。

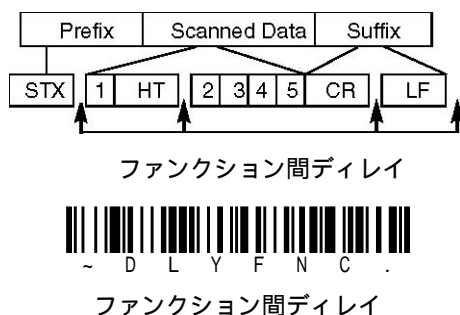
次に、Character to Trigger Delayのバーコードを読み取り、付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)で、ディレイをトリガーするASCIIキャラクタの2桁のHex値を読み取ります。



このディレイを削除するには、Delay Lengthのバーコードを読み取り、次にステップ数を0に設定します。[プログラミングチャート](#)でSaveのバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ

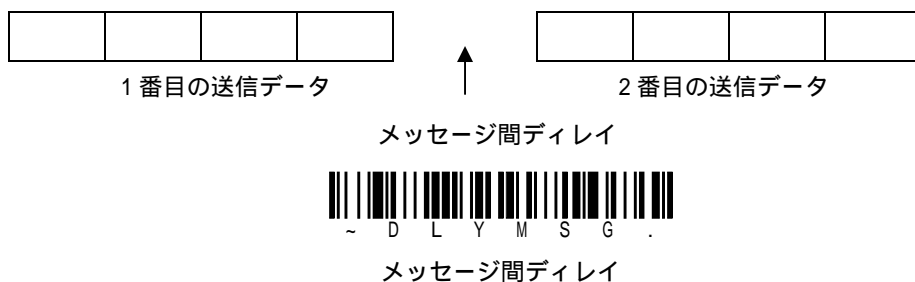
メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大495ミリ秒のファンクション間ディレイを設定できます。次のInterfunction Delayのバーコードを読み取り、[プログラミングチャート](#)でミリ秒単位の数字とSaveのバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、Interfunction Delayのバーコードを読み取り、次にステップ数を0に設定します。[プログラミングチャート](#)でSaveのバーコードを読み取ります。

メッセージ間ディレイ

読み取り送信の間に最大495ミリ秒のファンクション間ディレイを設定できます。次のIntermessage Delayのバーコードを読み取り、[プログラミングチャート](#)でミリ秒単位の数字とSaveのバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、Intermessage Delayのバーコードを読み取り、次にステップ数を0に設定します。[プログラミングチャート](#)でSaveのバーコードを読み取ります。

データフォーマット

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使って3800gの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。

データフォーマットの初期設定 = None

通常、バーコードを読み取ると自動的に出力されます。フォーマットをする場合は、フォーマットプログラムの中で「send」コマンド（5-2ページの「[送信コマンド](#)」参照）でデータを出力する必要があります。

3800gに複数のフォーマットをプログラム設定できます。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナルID、実際のコードID、実際の長さ
2. 特定のターミナルID、実際のコードID、汎用の長さ
3. 特定のターミナルID、汎用のコードID、実際の長さ
4. 特定のターミナルID、汎用のコードID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナルID、実際のコードID、実際の長さ
6. 汎用のターミナルID、実際のコードID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナルID、汎用のコードID、実際の長さ
8. 汎用のターミナルID、汎用のコードID、汎用の長さ

データフォーマットの設定を変更してあり、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、[5-5ページ](#)のDefault Data Formatのバーコードを読み取ります。

データフォーマットの追加

1. Enter Data Formatのバーコードを読み取ります。（[5-5ページ](#)）
2. 基準/代用フォーマット

基準のデータフォーマットにするか、または3つある代用フォーマットの1つにするかを決定します。（代用フォーマットでは、異なるデータフォーマットを用いて1つのバーコードを読み取る「シングルショット」機能が利用できます。バーコードを1つ読み取った後、3800gは基準データフォーマットに戻ります。[5-6ページ](#)を参照してください。）基準フォーマットを設定するときは、[プログラミングチャート](#)で0を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって1, 2, または3を読み取ります。

3. ターミナルの種類

[サポートターミナル](#)（[2-2ページ](#)）を参照し、お使いのコンピュータのターミナルIDナンバーを確認します。

裏表紙の内側にある3つの数字バーコードを読み取り、そのターミナルIDで3800gをプログラム設定します。（数字を3つ入力してください。）

例えば、ATウェッジの場合は0, 0, 3を読み取ります。

注：ターミナル全種のワイルドカードは099です。

4. コードID

付録Aで、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルのHex値を確認し、**プログラミングチャート**から2桁のHex値を読み取ります。

5. 長さ

このシンボルで可能なデータの長さ（最大9,999キャラクタ）を指定します。**プログラミングチャート**から4桁のデータ長を読み取ります。（注：50キャラクタは0050と入力します。9999は汎用の数字で、すべての長さを示します。）

6. エディタコマンド

データフォーマットエディタコマンド（5-2ページ）を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。各シンボルデータフォーマットには、94の英数キャラクタを入力できます。

7. **プログラミングチャート**からSaveを読み取ります。

他のプログラム設定

- ・ Clear One Data Format

1つのシンボルに対してデータフォーマットを1つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、**プログラミングチャート**から0を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって1, 2, または3を読み取ります。削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コードID（2-2ページの「**サポートターミナル**」参照）、およびバーコードデータ長を読み取ります。他のフォーマットはすべて影響を受けません。

- ・ **プログラミングチャート**からSaveを読み取ります。データフォーマットの変更をすべて保存して終了します。
- ・ **プログラミングチャート**からDiscardを読み取ります。データフォーマットの変更を一切保存しないで終了します。

データフォーマットエディタコマンド

送信コマンド

F1 現在のカーソル位置から、「XX」キーまたはファンクションコードの後に続くキャラクタをすべて送信します。Syntax = F1xx（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの**ASCII換算チャート（コードページ1252）**を参照してください。）

F2 現在のカーソル位置から、「XX」キーまたはファンクションコードの後に続く「nn」個のキャラクタを送信します。Syntax = F2nxx（nnはキャラクタ数を、xxはASCIIコードに対するHex値を示しています。）

F3 現在のカーソル位置から、「ss」キャラクタ（検索/送信）の前までを送信します。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まります。Syntax = F3ssxx（ssとxxは、どちらもASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

F4 現在のカーソル位置はそのまま、「xx」キャラクタを「nn」回（挿入）送信します。Syntax = F4xxnn（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。nnは、送信する回数（00～99）を示しています。）

E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」個のキャラクタを除くすべてのキャラクタを送信します。Syntax = E9nn（nnは、メッセージの最後に送信されないキャラクタ数（00～99）を示しています。）

移動コマンド

F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ前に移動します。Syntax = F5nn（nnは、カーソルを前に移動するキャラクタ数（00～99）を示しています。）

F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ後に移動します。Syntax = F6nn（nnは、カーソルを後に移動するキャラクタ数（00～99）を示しています。）

F7 カーソルをデータストリングの先頭に移動します。Syntax = F7。

EA カーソルをデータストリングの末尾に移動します。Syntax = EA。

検索コマンド

F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外の最初のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」以外のキャラクタに移動します。Syntax = E6xx（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

E7 現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外の最初のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」以外のキャラクタに移動します。Syntax = E7xx（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

その他のコマンド

FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大15の別のキャラクタをすべて無効にします。FCコマンドを実行すると、このファンクションは停止します。カーソルは、FBコマンドでは移動しません。Syntax = FBnnxxyy..zz。nnは、リストにある無効キャラクタの数、xxyy..zzは、無効にするキャラクタのリストです。（xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート（コードページ1252）](#)を参照してください。）

- FC 無効化フィルタを使用不能にし、無効になったキャラクタをすべて削除します。Syntax = FC。
- E4 データストリングにある最大15のキャラクタをユーザ指定のキャラクタに変更します。変更は、E5コマンドを実行するまで続きます。Syntax = E4nnxx1xx2yy1yy2..zz1zz2。nnは変更前のキャラクタと変更後のキャラクタの合計です。xx₁は、変更前のキャラクタを、xx₂は変更後のキャラクタを定義します。zz₁とzz₂まで同様です。
- E5 キャラクタ変更を停止します。Syntax = E5。
- FE 現在のカーソル位置のキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。一致しない場合は、フォーマットが違います。Syntax = FExx (xxは、ASCIIコードに対するHex値を示しています。付録ページの[ASCII換算チャート\(コードページ1252\)](#)を参照してください。)
- EC 現在のカーソル位置にASCII数字があることを確認します。キャラクタが数字でない場合は、フォーマットを中止します。Syntax = EC。
- ED 現在のカーソル位置にASCII数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。Syntax = ED。

データフォーマットエディタ



~ D F M B K 3 .
Enter Data Format
データフォーマット設定開始



*Default Data Format
データフォーマット初期化



~ D F M C L 3 .
Clear One Data Format
データフォーマットを1つ削除



~ D F M C A 3 .
Clear All Data Format
全データフォーマットを削除

フォーマット番号を利用し、代替のデータフォーマットを指定している場合に使用します。次に数字0~3をスキャン。



~ M N U S A V .
Save
保存して終了



~ M N U A B T .
Discard
設定中止

データフォーマッタ（データフォーマットの条件および要求）

データフォーマッタを禁止にすると、バーコードデータは読み取ったまま（プリフィックスとサフィックスを含む）ホストに出力されます。次のオプションを1つ選択します。

初期設定 = Data Formatter On



*Data Formatter On, but not Required
データフォーマッタ許可、条件は不要



* Data Formatter Off
データフォーマッタ 禁止

データフォーマッタが必要なとき、入力データはすべて設定フォーマットに適合しなければなりません。適合しなければ、入力データをホスト機器に送信しません。



Data Format On, Format Required
データフォーマッタ許可 条件は必要

代用データフォーマット

代用フォーマットでは、基準フォーマット以外の別のデータフォーマットを用いて1つのバーコードを読み取る「シングルショット」機能が利用できます。データフォーマットをプログラム設定するときは（5-1ページ参照）、基準フォーマットを設定するのか代用フォーマット1、2、または3を設定するのかを指定する必要があります。

代用フォーマットは、以下の3つの代用フォーマットバーコードの1つを最初に読み取ります。3800gは、その次のバーコードを読み取り、選択した代用フォーマットでデータをフォーマットします。その後すぐ基準フォーマットに戻ります。



Alternate Data Format1
代用データフォーマット 1



Alternate Data Format2
代用データフォーマット 2



Alternate Data Format3
代用データフォーマット 3

注意：データフォーマットエディタについては付録の補足説明もご参照ください。

シンボル（バーコード）

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、第11章を参照してください。

- ・ All Symbolologies
- ・ China Post Code
- ・ Codabar
- ・ Codablock F
- ・ Code 11
- ・ Code 16K
- ・ Code 39
- ・ Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- ・ Code 49
- ・ Code 93
- ・ Code 128
- ・ Trioptic Code
- ・ UPC-A/EAN-13 with Extended Coupon Code
- ・ UPC A
- ・ EAN/JAN 8
- ・ Interleaved 2 of 5
- ・ Korea Post Code
- ・ Matrix 2 of 5
- ・ MSI
- ・ Plessey Code
- ・ PosiCode
- ・ RSS-14
- ・ Straight 2 of 5 IATA
(two-bar start/stop)
- ・ Straight 2 of 5
Industrial (three-barstart/stop)
- ・ Telepen

シンボルすべて（バーコード全種類）

お使いの3800gで読み取り可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、All Symbolologies Onのバーコードを読み取ります。いっぽう、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、All Symbolologies Offを読み取り、その後その特定シンボルに対してOnを読み取ります。



~ A L L E N A 1 .

All Symbolologies On
シンボルすべて 許可



~ A L L E N A 0 .

All Symbolologies Off
シンボルすべて 禁止

メッセージ長について

バーコードシンボルによっては、有効読み取り長を設定できます。読み取ったバーコードのデータ長が有効読み取り長と一致しなければ、エラーブザーが鳴ります。3800gに強制的に一定長さのバーコードデータを読み取らせるため、最短と最長を同じ値に設定できます。これは、読み取りエラーを減らすのに役立ちます。

例：文字数が9～20のバーコードだけをデコードする。 最短：09 最長：20

例：文字数が15のバーコードだけをデコードする。 最短：15 最長：15

初期設定の最短および最長メッセージ長以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコードを読み取り、次に[プログラミングチャート](#)のメッセージ長の数値とSaveのバーコードを読み取ります。最短と最長、および初期設定は、それぞれのシンボルといっしょに記載されています。

Codabar コーダバー(NW-7)

<Default All Codabar Settings>

Codabar (NW-7)の設定を初期化する



コーダバー(NW-7)読み取り



*On
許可



Off
禁止

コーダバー(NW-7) スタート/ストップキャラクタ 送信

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信してもしなくてもかまいません。

初期設定 = Don't Transmit



Transmit
許可



*Don't Transmit
禁止

コーダバー(NW-7) チェックキャラクタ 条件

コーダバーチェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス16チェックキャラクタを用いたコーダバーのバーコードだけを読み取るように3800gを設定できます。

初期設定 = No Check Character

No Check Characterは、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタをValidate and Transmitに設定すると、チェックキャラクタが印刷されたコーダバーバーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmitに設定すると、チェックキャラクタが印刷されたコーダバーバーコードだけを読み取りますが、読み取ったデータと一緒に送信はしません。



~ C B R C K 2 0 .

*No Check Character
チェックキャラクタ無し



~ C B R C K 2 1 .

Validate and Transmit
チェックキャラクタ有効 送信する



~ C B R C K 2 2 .

Validate, but Don't Transmit
チェックキャラクタ有効 送信しない

コーダバー(NW-7) 連結機能

コーダバーは、シンボルの連結をサポートします。連結機能を許可にすると、3800gは「d」のスタートキャラクタがあり、「d」のストップキャラクタがあるシンボルに隣接するコーダバーのシンボルを検索します。この場合、2つのメッセージは1つに連結され、「d」キャラクタは省略されます。

初期設定 = 0n



a 1 2 d



d 3 4 a



~ C B R C C T 1 .

On
許可



~ C B R C C T 0 .

*Off
禁止



~ C B R C C T 2 .

Require
許可 条件が必要

コーダバー(NW-7) メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：2~60 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 60



~ C B R M I N .
Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ C B R M A X .
Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code39

<Default All Code39>

Code39 の設定を初期化する



~ C 3 9 D F T .

Code39 読み取り



*On
許可



Off
禁止

Code39 スタート/ストップキャラクタ 送信

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信してもしなくてもかまいません。Code39のスタート/ストップキャラクタは* (アスタリスク) です。

初期設定 = Don't Transmit



Transmit
許可



*Don't Transmit
禁止

Code 39 チェックキャラクタ 条件

No Check Characterは、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタをValidate, but Don't Transmitに設定すると、3800gはチェックキャラクタが印刷されたCode 39バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。

チェックキャラクタをValidate and Transmitに設定すると、チェックキャラクタが印刷されたCode 39バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

初期設定 = No Check Character



*No Check Character
チェックキャラクタ無し



Validate, but Don't Transmit
チェックキャラクタ有効 送信しない



Validate and Transmit
チェックキャラクタ有効 送信する

Code 39 メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。 最長と最短 : 0~48

最短の初期設定 = 0 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code 39 アペンド

この機能により、複数のCode 39バーコードのデータをいっしょにしてからホストコンピュータに送信できます。この機能を許可にすると、3800gはスペースで始まるCode 39バーコード（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外のキャラクタで始まるCode 39バーコードを読み取ると、保存したデータを送信します。 初期設定 = Off



On
許可



*Off
禁止

Code 32 Pharmaceutical (PARAF) 読み取り

Code 32 Pharmaceuticalは、イタリアの薬局で使用されているCode 39の一種です。PARAFとも呼ばれます。

注： Code 32 Pharmaceuticalのバーコードを読み取る時は、Trioptic Code (7-34ページ) をかならずオフにしてください。



On
許可



*Off
禁止

Full ASCII フルアスキー Code39

Full ASCII Code 39デコーディングを許可にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」はASCIIキャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。 初期設定 = On

NUL	%U	DLE	\$P	SP	SPACE	0	0	@	%V	P	P	'	%W	p	+P
SOH	\$A	DC1	\$Q	!	/A	1	1	A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
STX	\$B	DC2	\$R	"	/B	2	2	B	B	R	R	b	+B	r	+R
ETX	\$C	DC3	\$S	#	/C	3	3	C	C	S	S	c	+C	s	+S
EOT	\$D	DC4	\$T	\$	/D	4	4	D	D	T	T	d	+D	t	+T
ENQ	\$E	NAK	\$U	%	/E	5	5	E	E	U	U	e	+E	u	+U
ACK	\$F	SYN	\$V	&	/F	6	6	F	F	V	V	f	+F	v	+V
BEL	\$G	ETB	\$W	'	/G	7	7	G	G	W	W	g	+G	w	+W
BS	\$H	CAN	\$X	(/H	8	8	H	H	X	X	h	+H	x	+X
HT	\$I	EM	\$Y)	/I	9	9	I	I	Y	Y	i	+I	y	+Y
LF	\$J	SUB	\$Z	*	/J	:	/Z	J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
VT	\$K	ESC	%A	+	/K	;	%F	K	K	[%K	k	+K	{	%P
FF	\$L	FS	%B	,	/L	<	%G	L	L	\	%L	l	+L		%Q
CR	\$M	GS	%C	-	-	=	%H	M	M]	%M	m	+M	}	%R
SO	\$N	RS	%D	.	.	>	%I	N	N	^	%N	n	+N	~	%S
SI	\$O	US	%E	/	/O	?	%J	O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。

「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



Full ASCII On
フルアスキーCode39 許可



*Full ASCII Off
フルアスキーCode39 禁止

Code 39コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し「A-5ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」参照）、本書のプログラミングチャートから値とSaveのバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。



Interleaved 2 of 5 (ITF)

<Default All Interleaved 2 of 5>

Interleaved 2 of 5 の設定を初期化する



Interleaved 2 of 5 読み取り



*On
許可



Off
禁止

Interleaved 2 of 5チェックデジット 条件

No Check Digitは、3800gがチェックデジットの有無に関係なくバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmitに設定すると、チェックデジットが印刷されたインターリーブド2 of 5バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットは読み取ったデータといっしょに送信しません。

Validate and Transmitに設定すると、チェックキャラクタが印刷されたインターリーブド2 of 5バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。 初期設定 = No Check Digit



*No Check Character
チェックデジット無し



Validate, but Don't Transmit
チェックデジット有効 送信しない



Validate and Transmit
チェックデジット有効 送信する

Interleaved 2 of 5メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：2~80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code93

<Default All Code93>

Code93 の設定を初期化する



Code93 読み取り



*On
許可



Off
禁止

Code 93 メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：0～80 最短の初期設定=0 最長の初期設定=80



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code 93コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し(A-5ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」参照)、[プログラミングチャート](#)から値とSaveのバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。



Code93 Code Page
Code93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial (tree-bar start/stop)

<Default All Straight 2 of 5 Industrial>

Straight 2 of 5 Industrial の設定を初期化する



Straight 2 of 5 Industrial 読み取り



On
許可



*Off
禁止

Straight 2 of 5 Industrial メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1～48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Straight 2 of 5 IATA(two-bar start/stop)

<Default All Straight 2 of 5 IATA>

Straight 2 of 5 IATA の設定を初期化する



Straight 2 of 5 IATA読み取り



~ A 2 5 E N A 1 .

On
許可



~ A 2 5 E N A 0 .

*Off
禁止

Straight 2 of 5 IATA メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1~48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



~ A 2 5 M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ A 2 5 M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Matrix 2 of 5

<Default All Matrix 2 of 5>

Matrix 2 of 5の設定を初期化する



~ X 2 5 D F T .

Matrix 2 of 5 読み取り



~ X 2 5 E N A 1 .

On
許可



~ X 2 5 E N A 0 .

*Off
禁止

Matrix 2of 5 メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1～80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



~ X 2 5 M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ X 2 5 M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code11

<Default All Code11>

Code11 の設定を初期化する



~ C 1 1 D F T .

Code11 読み取り



~ C 1 1 E N A 1 .

On
読み取り 許可



~ C 1 1 E N A 0 .

*Off
読み取り 禁止

Code11 必要チェックデジット数

Code 11バーコードに必要なチェックデジットを1つまたは2つに設定します。

初期設定 = Two Check Digits



~ C 1 1 C K 2 0 .

One Check Digit
チェックデジット1つ



~ C 1 1 C K 2 1 .

*Two Check Digits
チェックデジット2つ

Code 11メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1~80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



~ C 1 1 M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ C 1 1 M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code128

<Default All Code128>

Code128 の設定を初期化する



~ 1 2 8 D F T .

Code128 読み取り



~ 1 2 8 E N A 1 .

*On
許可



~ 1 2 8 E N A 0 .

Off
禁止

ISBT 128連結機能

1994年、国際輸血学会 (ISBT) は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための標準を定めました。ISBTフォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いためにCode 128を使用するという現在の勧告、3) 隣接シンボルの連結をサポートするCode 128の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン/オフします。 初期設定 = Off



~ I S B E N A 1 .

On
許可



~ I S B E N A 0 .

*Off
禁止

Code 128 メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：0～80 最短の初期設定 = 0 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code 128コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し(A-5ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」参照)、[プログラミングチャート](#)から値とSaveのバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。



Code128 Code Page
Code128 コードページ

Code 128 ファンクションコード送信

初期値では、Code128 のファンクションコードを送信しません。ファンクションコードを送信する場合は Function Codes On を読み取ります。



*Function Codes Off
ファンクションコード 送信しない



Function codes On
ファンクションコード 送信する

Telepen

<Default All Telepen>

Telepen の設定を初期化する



Telepen 読み取り



~ T E L E N A 1 .

On
読み取り 許可



~ T E L E N A 0 .

*Off
読み取り 禁止

Telepen 出力

AIM Telepen Outputを使用すると、3800gはスタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、標準のFull ASCII (スタート/ストップパターン1)としてデコードします。Original Telepen Outputを選択すると、スタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、オプションのFull ASCII (スタート/ストップパターン2)を含む圧縮された数値としてデコードします。 初期設定 = AIM Telepen Output



~ T E L O L D 0 .

*AIM Telepen Output
AIM 準拠の出力



~ T E L O L D 1 .

Original Telepen Output
オリジナルの出力

Telepen メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1~60 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 60



~ T E L M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ T E L M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

UPC-A

<Default All UPC-A>

UPC-A の設定を初期化する



UPC-A 読み取り



*0n
許可



Off
禁止

UPC-A チェックデジット送信

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。

初期設定 = 0n



*0n
許可



Off
禁止

UPC-A ナンバーシステムキャラクタ (1桁目のキャラクタ) 送信

読み取ったデータの最初にUPCシボルのシステム番号を通常送信しますが、送信しないように設定できます。 初期設定 = 0n



*0n
許可



Off
禁止

UPC-A 追加デジット (アドオン) 読み取り

読み取ったすべてのUPC-Aデータの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2桁と5桁の両方のデジット追加についてOff



~ U P A A D 2 1 .

2 Digit Addenda On

アドオン 2桁 許可



~ U P A A D 2 0 .

*2 Digit Addenda Off

アドオン 2桁 禁止



~ U P A A D 5 1 .

2 Digit Addenda On

アドオン 5桁 許可



~ U P A A D 5 0 .

*5 Digit Addenda On

アドオン 5桁 禁止

UPC-A 追加デジット(アドオン)要求

Requiredバーコードを読み取ると、3800gは追加デジットのあるUPC-Aバーコードだけを読み取ります。7-20ページに記載された2桁または5桁の追加デジットをオンにする必要があります。

初期設定 = Not Required



~ U P A A R Q 1 .

Required

必要



~ U P A A R Q 0 .

*Not Required

不要

UPC-A 追加デジット(アドオン)セパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。 初期設定 = On



~ U P A A D S 1 .

*On

許可



~ U P A A D S 0 .

*Off

禁止

拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付きUPC-AおよびEAN-13を有効または無効にします。



*On
許可



Off
禁止

UPC-E0とUPC-E1

<Default All UPC-E0>

UPC-E0 の設定を初期化する



UPC-E0 とUPC-E1 読み取り



*UPC-E0 On
UPC-E0 読み取り 許可



UPC-E0 Off
UPC-E0 読み取り 禁止



UPC-E1 On
UPC-E1 読み取り 許可



*UPC-E1 On
UPC-E 読み取り 禁止

UPC-E0とUPC-E1 拡張 (UPC-Aフォーマットに拡張)

UPC-Eバーコードを12桁のUPC-Aフォーマットに拡張します。 初期設定 = Off



On
許可



*Off
禁止

UPC-E0とUPC-E1 追加デジット (アドオン) 要求

Requiredに設定すると、3800gは追加デジットのあるUPC-Eバーコードだけを読み取ります。

初期設定 = Not Required



Required
必要



*Not Required
不要

UPC-E0 追加デジット (アドオン) セパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。 初期設定 = On



*On
許可



Off
禁止

UPC-E0 チェックデジット送信

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定します。

初期設定 = On



*On
許可



Off
禁止

UPC-E0 ナンバーシステムキャラクタ（1桁目のキャラクタ）送信

読み取ったデータの最初にUPCシボルのシステム番号を通常送信しますが、送信しないように設定できません。 初期設定 = On



~ U P E N S X 1 .

*On
許可



~ U P E N S X 0 .

Off
禁止

UPC-E0 追加デジット（アドオン）読み取り

読み取ったすべてのUPC-Aデータの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2桁と5桁の両方のデジット追加についてOff



~ U P E A D 2 1 .

2 Digit Addenda On
アドオン 2桁 許可



~ U P E A D 2 0 .

*2 Digit Addenda Off
アドオン 2桁 禁止



~ U P E A D 5 1 .

5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 許可



~ U P E A D 5 0 .

*5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 禁止

EAN/JAN-13

<Default All EAN/JAN-13>

EAN/JAN-13 の設定を初期化する



~ E 1 3 D F T .

EAN/JAN-13 読み取り



~ E 1 3 E N A 1 .

*On
許可



~ E 1 3 E N A 0 .

Off
禁止

EAN/JAN-13 チェックデジット 送信

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。

初期設定 = 0n



*0n
許可



Off
禁止

EAN/JAN-13 追加デジット (アドオン) 読み取り

読み取ったすべてのEAN/JAN-13データの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2桁と5桁の両方のデジット追加についてOff



2 Digit Addenda On
アドオン 2桁 許可



*2 Digit Addenda Off
アドオン 2桁 禁止



5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 許可



*5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 禁止

EAN/JAN-13追加デジット (アドオン) 要求

Requiredに設定すると、3800gは追加デジットのあるEAN/JAN-13バーコードだけを読み取ります。

初期設定 = Not Required



Required
必要



*Not Required
不要

読み取ったすべてのUPC-Aデータの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2桁と5桁の両方のデジット追加についてOff



2 Digit Addenda On
アドオン 2桁 許可



*2 Digit Addenda Off
アドオン 2桁 禁止



2 Digit Addenda On
アドオン 5桁 許可



*5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 禁止

UPC-A 追加デジット(アドオン)要求

Requiredに設定すると、3800gは追加デジットのあるUPC-Aバーコードだけを読み取ります。7-20ページに記載された2桁または5桁の追加デジットをオンにする必要があります。

初期設定 = Not Required



Required
必要



*Not Required
不要

UPC-A 追加デジット(アドオン)セパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。 初期設定 = On



*On
許可



*Off
禁止

EAN/JAN-13 追加デジット（アドオン）セパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。 初期設定 = On

注： 拡張クーポンコード付きEAN13を有効または無効にしたい場合は、[拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13](#) (7-21ページ) を参照してください。



*On
許可



Off
禁止

ISBN 変換

この設定では、EAN/JAN-13が同等のISBN番号フォーマットに変換されます。 初期設定 = Off



On
許可



*Off
禁止

EAN/JAN-8

<Default All EAN/JAN-8>

EAN/JAN-8 の設定を初期化する



EAN/JAN-8 読み取り



*On
許可



Off
禁止

EAN/JAN-8 チェックデジット送信

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。

初期設定 = 0n



~ E A 8 C K X 1 .

*0n
許可



~ E A 8 C K X 0 .

Off
禁止

EAN/JAN-8 追加デジット (アドオン) 読み取り

読み取ったすべてのEAN/JAN-8データの最後に2桁または5桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2桁と5桁の両方のデジット追加についてOff



~ E A 8 A D 2 1 .

2 Digit Addenda On
アドオン 2桁 許可



~ E A 8 A D 2 0 .

*2 Digit Addenda Off
アドオン 2桁 禁止



~ E A 8 A D 5 1 .

5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 許可



~ E A 8 A D 5 0 .

*5 Digit Addenda On
アドオン 5桁 禁止

EAN/JAN-8 追加デジット (アドオン) 要求

Requiredに設定すると、3800gは追加デジットのあるEAN/JAN-13バーコードだけを読み取ります。

初期設定 = Not Required



~ E A 8 A R Q 1 .

Required
必要



~ E A 8 A R Q 0 .

*Not Required
不要

EAN/JAN-8追加デジット（アドオン）セパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。 初期設定 = On



*On
許可



Off
禁止

MSI

<Default All MSI>

MSI の設定を初期化する



MSI 読み取り



On
許可



*Off
禁止

MSIチェックキャラクタ

MSIバーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ10のチェックキャラクタのあるMSIバーコードを読み取るように3800gを設定できます。 初期設定 = Validate Type 10, but Don't Transmit

チェックキャラクタをValidate and Transmitに設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷されたMSIバーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

チェックキャラクタをValidate, but Don't Transmitに設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷されたMSIバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。



*Validate Type 10, but Don't Transmit
チェックキャラクタ許可/送信しない



Validate Type 10, and Transmit
チェックキャラクタ許可/送信する

MSI メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：4~48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Plessey

<Default All Plessey>

Plessey の設定を初期化する



Plessey 読み取り



On
許可



*Off
禁止

Plessey メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：4~48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

RSS-14

<Default All RSS-14>

RSS-14 の設定を初期化する



RSS-14 読み取り



*On
許可



Off
禁止

RSS-Limited

<Default All RSS-Limited>

RSS-Limited の設定を初期化する



RSS-Limited 読み取り



On
許可



Off
禁止

RSS-Expanded

<Default All RSS-Expanded>

RSS-Expanded の設定を初期化する



RSS-Expanded 読み取り



~ R S E E N A 1 .

*On
許可



~ R S E E N A 0 .

Off
禁止

RSS Expandedメッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「メッセージ長について」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：0~80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 74



~ R S E M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ R S E M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

EAN・UCCエミュレーション

3800gは、任意のEAN・UCCデータキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等のUCC/EAN-128、またはRSSおよびCompositeシンボルでデコードされる内容をエミュレーションすることができます。EAN・UCCデータキャリアには、UPC-AとUPC-E、EAN-13とEAN-8、ITF-14、UCC/EAN-128、EAN・UCC RSSおよびCompositeがあります。Aztec Code、Data Matrix、QR Codeなど、先頭のFNC1をエンコードする2Dシンボルのデータも、EAN・UCCエミュレーションを呼び出します。UCC/EAN-128エミュレーションを選択すると、AIMシンボルのIDIは「Jc1」としてレポートされます。RSSエミュレーションでは、「Je0」とレポートされます。EAN・UCCのデータに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを1つ認識するだけですむからです。 初期設定 = No Emulation



~ E A N E M U 2 .

RSS Emulation
RSS エミュレーション



~ E A N E M U 1 .

128 Emulation
128 エミュレーション



~ E A N E M U 0 .

EAN・UCC Emulation Off
*EAN・UCC エミュレーション 禁止

China Post Code

<Default All China Post Code>

China PostCode の設定を初期化する



China Post Code 読み取り



On
許可



*Off
禁止

China Post Code メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：0~80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Korea Post Code

<Default All Korea Post Code>

Korea Post Code の設定を初期化する



Korea Post Code 読み取り



On
許可



*Off
禁止

Korea Post Code メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」（7-2ページ）を参照してください。

最長と最短：2～80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Posi Code

<Default All Posi Code>

Posi Code の設定を初期化する



Posi Code A および B 読み取り



*On
許可



Off
禁止

Posi Codeシンボルを読み取るときは、Posi Code AおよびBをオンにしておく必要があります。



A and B On
(No Limited)



A and B and Limited A On
(Limited B Off)



* A and B and Limited B On
(Limited A Off)

Posi Codeメッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：2~80 最短の初期設定=4 最長の初期設定=48



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Trioptic Code

注：Code 32 Pharmaceuticalのバーコード(7-8ページ)を読み取るときは、Trioptic Codeをかならずオフにしてください。

Trioptic Codeは、磁気記録媒体のラベル表示に使用します。



On
許可



*Off
禁止

Codablock F

<Default All CodablockF>

Codablock F の設定を初期化する



Codabloc F 読み取り



On
許可



*Off
禁止

Codablock Fメッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1～2048 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 2048



Minimum Message Length
最短のメッセージ長



Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code 16K

<Default All Code 16K>

Code 16K の設定を初期化する



Code 16K 読み取り



~ 1 6 K E N A 1 .

On
許可



~ 1 6 K E N A 0 .

*Off
禁止

Code 16K メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：0~160 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 160



~ 1 6 K M I N .

Minimum Message Length
最短のメッセージ長



~ 1 6 K M A X .

Maximum Message Length
最長のメッセージ長

Code 49

<Default All Code 49>

Code 49 の設定を初期化する



~ C 4 9 D F T .

Code 49 読み取り



~ C 4 9 E N A 1 .

*On
許可



~ C 4 9 E N A 0 .

Off
禁止

Code 49 メッセージ長

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については「[メッセージ長について](#)」(7-2ページ)を参照してください。

最長と最短：1~81 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 81



~ C 4 9 M I N .

Minimum Message Length

最短のメッセージ長



~ C 4 9 M A X .

Maximum Message Length

最長のメッセージ長

インタフェースキー

キーボードファンクションの関係

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII値、およびFull ASCII「CTRL」+の関係は、3800gとともに使用可能なすべてのターミナルに適用します。

(参照：2-6ページ、Control + ASCII モード)

Function Code	HEX/ASCII Value	Full ASCII "CTRL" +
NUL	00	2
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D]
RS	1E	6
US	1F	-

サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	DOS/V (IBM AT/XTとPS/2 互換機), WYSE PC/ATのサポートキー	IBM XTs と 互換機の サポートキー	IBM, DDC, Memorex Telex, Harris* のサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	CR/Enter	Enter
STX	02	Cap Lock	Caps Lock	F11
ETX	03	ALT make	Reserved	F12
EOT	04	ALT break	Reserved	F13
ENQ	05	CTRL make	Reserved	F14
ACK	06	CTRL break	Reserved	F15
BEL	07	CR/Enter	CR/Enter	New Line
BS	08	Reserved	Reserved	F16
HT	09	Tab	Tab	F17
LF	0A	Reserved	Reserved	F18
VT	0B	Tab	Tab	Tab/Field Forward
FF	0C	Delete	Delete	Delete
CR	0D	CR/Enter	CR/Enter	Field Exit/New Line
SO	0E	Insert	Insert	Insert
SI	0F	Escape	Escape	F19
DLE	10	F11	Reserved	Error Reset
DC1	11	Home	Home	Home
DC2	12	Print	Print	F20
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Backfield/Back Tab
NAK	15	F12	Reserved	F21
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

見方 : USB キーボードエミュレーションおよび PS/2 キーボードインターフェースを PC に接続している場合は DOS/V の欄を参照し、設定するキーの HEX 値を参照します。

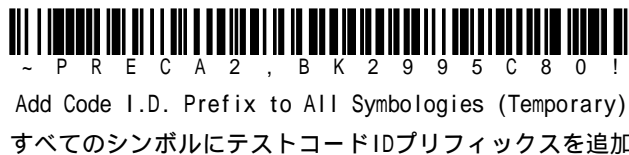
例 : 「Tab」を設定する場合、HEX 値は「09」です。「F1」を設定する場合、HEX 値は「16」です。

「CTRL+1 文字」を設定する場合、「CTRL make(HEX 値 = 05)」「1 文字(HEX 値 = xx)」「CTRL break(HEX 値 = 06)」と設定します。文字の HEX 値 xx は付録の [アスキー換算チャート](#) を参照してください。

ユーティリティ

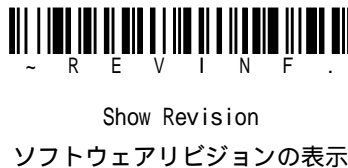
すべてのシンボルにテストコードIDプリフィックスを追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコードIDを送信することができます（各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、付録A、A-1ページに記載されたシンボルチャートを参照してください。）。ここでは、まず現在のプリフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコードIDプリフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



ソフトウェアリビジョンの表示

次のバーコードを読み取り、現在のソフトウェアリビジョン、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。



データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。



標準の製品初期設定

お使いの3800gのプログラミングオプションがわからない場合や、変更したオプションを標準の製品初期設定に戻したい場合は、次のStandard Product Default Settingsのバーコードを読み取ります。



プログラミングページのアスタリスク（*）は標準の製品初期設定を示しています。

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらも3800gをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、USB COMポートエミュレーション（RS-232インターフェース）用に設定する必要があります（1-3ページ参照）。以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いてPC COM経由で送信できます。

規約

メニューと質問コマンドの記述には、以下の規約が用いられています。

Parameter	コマンドの一部として送信する実際の値を表わすラベル
[option]	コマンドのオプション部分
{data}	コマンド内の選択肢
bold	画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです（スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです）：

Prefix Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [; Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix	3つのASCIIキャラクタ：SYN M CR（ASCII 22、77、13）
Tag	希望のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い3キャラクタのフィールド。例えば、RS-232の環境設定は、すべて232というTagで識別されます。
SubTag	タググループの中の希望のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い3キャラクタのフィールド。例えば、RS-232のボーレートのSubTagはBADです。
Data	メニュー設定の新しい値。TagとSubTagで識別されます。
Storage	コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1つのキャラクタ。感嘆符（!）は、機器の揮発性メニュー構成テーブル上でコマンド操作を実行します。ピリオド（.）は、機器の不揮発性メニュー構成テーブル上でコマンド操作を実行します。不揮発性テーブルは、始動時に保存したい半恒久的な変更だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器に質問するため、いくつかの特殊キャラクタを使用できます。

- ^ 設定の初期値
- ? 機器の現在の設定値
- * 設定で可能な範囲（機器のレスポンスでは、ダッシュ（-）で値の連続範囲を示し、パイプ（|）で不連続値の一覧で項目を区切ります）

Tagフィールドの使い方

Tagフィールドに代わって質問を使用すると、コマンドのStorageフィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるのでSubTagおよびDataフィールドは使用しないでください。

SubTagフィールドの使い方

SubTagフィールドに代わって質問を使用すると、Tagフィールドに一致する使用可能なコマンドのサブセットだけに質問します。この場合、機器には無視されるのでDataフィールドは使用しないでください。

Dataフィールドの使い方

Dataフィールドに代わって質問を使用すると、TagおよびSubTagフィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを1つのPrefix/Storageシーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、およびDataフィールドだけです。同じTagでコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ（,）で区切り、追加コマンドのSubTagおよびDataフィールドだけを記述します。追加コマンドで異なるTagフィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン（;）で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の3つのレスポンスの1つでシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しいコマンドを実行した

ENQ TagまたはSubTagコマンドが無効

NAK コマンドは正しいが、Dataフィールドの入力がこの組み合わせのTagおよびSubTagの許容範囲外。例えば、フィールドが2キャラクタしか受け付けられないときに最小メッセージ長の入力が100になっている。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ[]は非表示レスポンスを示します。

例1：Codabar Coding Enableで可能な値の範囲は？

入力：cbrena*.

レスポンス：CBRENA0-1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が0~1 (オフとオン) であることを示します。

例2：Codabar Coding Enableの初期設定値は？

入力：cbrena^.

レスポンス：CBRENA1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) の初期設定が1、またはオンであることを示します。

例3：Codabar Coding Enableに対する機器の現在の設定は？

入力：cbrena?.

レスポンス：CBRENA1[ACK]

機器のCodabar Coding Enable (CBRENA) が1、またはオンに設定されていることを示します。

例4：すべてのコーダバー選択項目に対する機器の設定は？

入力：cbr?.

レスポンス：CBRENA1[ACK],

SSX0[ACK],

CK20[ACK],

CCT1[ACK],

MIN2[ACK],

MAX60[ACK],

DFT[ACK].

機器のCodabar Coding Enable (CBRENA) が1、またはオンに設定され、スタート/ストップキャラクタ (SSX) は0、またはDon't Transmitに、チェックキャラクタ (CK2) は0、またはNot Requiredに、連結機能 (CCT) は1、またはEnabledに、最小メッセージ長 (MIN) は2キャラクタに、最大メッセージ長 (MAX) は60キャラクタに、また初期設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでイメージャをアクティブまたは非アクティブにできます。まず、Manual/Serial Trigger Modeのバーコード(3-3ページ)を読み取るか、マニュアル/シリアルメニューコマンド(11-7ページ)を送り、イメージャをマニュアル/シリアルトリガーモードにします。イメージャがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ/非アクティブにできます。

アクティブに： SYN T CR

非アクティブに： SYN U CR

イメージャは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します(説明については3-4ページの「リードタイムアウト」を、また11-7ページのシリアルコマンドを参照)。

標準の製品初期設定のリセット

お使いのイメージャのプログラミングオプションがわからない場合や、変更したオプションを標準の製品初期設定に戻したい場合は、次のStandard Product Default Settingsのバーコードを読み取ります。



Standard Product Default Settings

標準の製品初期設定

以下のページのチャートは、各メニューコマンド(プログラミングページにアスタリスク(*)で表示)の標準の出荷時初期設定を示しています。

メニューコマンド(標準の初期設定一覧)

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Factory Default Settings	Default	DEFAULT	
ターミナルインターフェース			
Terminal ID	USB PC Keyboard	TERMID###	2-2
Program Keyboard Country	*USA	KBDCTY0	2-4
	Belgium	KBDCTY1	2-4
	Denmark	KBDCTY8	2-4
	Finland	KBDCTY2	2-4
	France	KBDCTY3	2-4
	Germany/Austria	KBDCTY4	2-4
	Great Britain	KBDCTY7	2-4
	Italy	KBDCTY5	2-4
	Norway	KBDCTY9	2-4
	Spain	KBDCTY10	2-4
	Switzerland	KBDCTY6	2-4
Keyboard Style	*Regular	KBDSTY0	2-5
	Caps Lock	KBDSTY1	2-5
	Shift Lock	KBDSTY2	2-5
	Automatic Caps Lock	KBDSTY6	2-5
	Emulate External	KBDSTY5	2-6
Keyboard Modifiers	*Control + ASCII Off	KBDCAS0	2-6
	Control + ASCII On	KBDCAS1	2-6
	*Turbo Mode Off	KBDTMD0	2-6
	Turbo Mode On	KBDTMD1	2-6
	*Numeric Keypad Off	KBDNPS0	2-6
	Numeric Keypad On	KBDNPS1	2-6
	*Auto Direct Conn. Off	KBDADC0	2-7
	Auto Direct Conn. On	KBDADC1	2-7
Serial Port	RS-232	PAP232	1-7

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Baud Rate	300 BPS	232BAD0	2-7
	600 BPS	232BAD1	2-7
	1200 BPS	232BAD2	2-7
	2400 BPS	232BAD3	2-7
	4800 BPS	232BAD4	2-7
	9600 BPS	232BAD5	2-7
	19200 BPS	232BAD6	2-7
	38400 BPS	232BAD7	2-7
	57600 BPS	232BAD8	2-7
	*115200 BPS	232BAD9	2-7
Word Length: Data Bits, Stop Bits, and Parity	7 Data, 1 Stop, Parity	232WRD3	2-8
	7 Data, 1 Stop, Parity	232WRD0	2-8
	7 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD6	2-8
	7 Data, 2 Stop, Parity	232WRD4	2-8
	7 Data, 2 Stop, Parity	232WRD1	2-8
	7 Data, 2 Stop, Parity Odd	232WRD7	2-8
	8 Data, 1 Stop, Parity	232WRD5	2-8
	*8 Data, 1 Stop, Parity	232WRD2	2-8
	8 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD8	2-8
RS-232 Handshaking	*RTS/CTS Off	232CTS0	2-9
	RTS/CTS On	232CTS1	2-9
	*XON/XOFF Off	232XON0	2-9
	XON/XOFF On	232XON1	2-9
	*ACK/NAK Off	232ACK0	2-9
	ACK/NAK On	232ACK1	2-9
出力			
Beeper - Good Read	Off	BEPBEP0	3-1
	*On	BEPBEP1	3-1
Beeper Volume - Good Read	Off	BEPLVL0	3-1
	Low	BEPLVL1	3-1
	Medium	BEPLVL2	3-1
	*High	BEPLVL3	3-1

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Beeper Pitch - Good Read (Frequency)	Low (1600) (min 400Hz)	BEPFQ11600	3-1
	*Medium (2550)	BEPFQ12550	3-1
	High (4200) (max 9000Hz)	BEPFQ14200	3-1
Beeper Duration - Good Read	*Normal Beep	BEPBIP0	3-2
	Short Beep	BEPBIP1	3-2
LED - Good Read	Off	BEPLD0	3-2
	*On	BEPLD1	3-2
Number of Beeps - Good Read	*1	BEPRPT1	3-2
	Range 1 - 9	BEPRPT#	3-2
Good Read Delay	*No Delay	DLYGRD0	3-3
	Short Delay (500 ms)	DLYGRD500	3-3
	Medium Delay (1000 ms)	DLYGRD1000	3-3
	Long Delay (1500 ms)	DLYGRD1500	3-3
User-Specified Good Read Delay	Range 0 - 30,000 ms	DLYGRD#### #	3-3
Trigger Mode	*Manual/Serial Trigger	TRGMOD0	3-3
	Read Time-Out (0 - 300,000 ms) *300,000	TRGSTO####	3-4
	Automatic Trigger	TRGMOD1	3-4
	Presentation Mode	TRGMOD3	3-4
	Continuous Illumination	ILLAON1	3-4
	*Continuous Illumination	ILLAON0	3-4
	Hands Free Time-Out (0- 300,000 seconds) *5000	TRGPTO#### ##	3-5
Reread Delay	Short (500 ms)	DLYRRD500	3-5
	*Medium (750 ms)	DLYRRD750	3-5
	Long (1000 ms)	DLYRRD1000	3-5
	Extra Long (2000 ms)	DLYRRD3000	3-5
User-Specified Reread Delay	Range 0 - 30,000 ms	DLYRRD#### #	3-6
Centering	Centering On	DECWIN1	3-6
	*Centering Off	DECWIN0	3-6
	Left of Centering Window *40	DECLFT###	3-6
	Right of Centering Window *60	DECRGT###	3-6

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Output Sequence Editor	Enter Sequence	SEQBLK	3-9
	Default Sequence	SEQDFT	3-9
Require Output Sequence	Required	SEQ_EN2	3-9
	On/Not Required	SEQ_EN1	3-9
	*Off	SEQ_EN0	3-9
Multiple Symbols	On	SHOTGN1	3-12
	*Off	SHOTGN0	3-12
No Read	On	SHWNRD1	3-11
	*Off	SHWNRD0	3-11
Video Reverse	On	VIDREV1	3-11
	*Off	VIDREVO	3-11
プリフィックス/サフィックス			
Add CR Suffix to All Symbolologies		VSUFCR	4-3
Prefix	Add Prefix	PREBK2##	4-3
	Clear One Prefix	PRECL2	4-3
	Clear All Prefixes	PRECA2	4-3
Suffix	Add Suffix	SUFBK2##	4-4
	Clear One Suffix	SUFCL2	4-4
	Clear All Suffixes	SUFCA2	4-4
Function Code Transmit	*Enable	RMVFNC0	4-4
	Disable	RMVFNC1	4-4
Intercharacter Delay		DLYCHR##	4-5
User Specified	Delay Length	DLYCRX##	4-5
Intercharacter Delay	Character to Trigger	DLY_XX###	4-5
Interfunction Delay		DLYFNC##	4-6
Intermessage Delay		DLYMSG##	4-6
データフォーマット			
Data Format Editor	*Default Data Format	DFMDF3	5-4
	Enter Data Format	DFMBK3##	5-4
	Clear One Data Format	DFMCL3	5-4
	Clear All Data Formats	DFMCA3	5-4

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Data Formatter	Off	DFM_EN0	5-5
	*On, but Not Required	DFM_EN1	5-5
	On, Required	DFM_EN2	5-5
Alternate Data Formats	1	VSAF_1	5-5
	2	VSAF_2	5-5
	3	VSAF_3	5-5
Secondary Interface Selections			
Enabling the Secondary Interface	*Disable	2IF_EN0	6-1
	Enable	2IF_EN1	6-1
Secondary RS-232	RS-232 Interface	2IFTYP0	6-2
Secondary Trigger Mode	*Manual Trigger	2IFTRG0	6-2
	Automatic Trigger	2IFTRG1	6-2
	Presentation Mode	2IFTRG3	6-2
シンボル (バーコード)			
All Symbologies	All Symbologies Off	ALLENA0	7-1
	All Symbologies On	ALLENA1	7-1
Codabar	Default All Codabar	CBRDFT	7-3
Codabar	Off	CBRENA0	7-3
	*On	CBRENA1	7-3
Codabar Start/Stop Char.	*Don't Transmit	CBRSSX0	7-3
	Transmit	CBRSSX1	7-3
Codabar Check Char.	*No Check Char.	CBRCK20	7-4
	Validate, But Don't	CBRCK21	7-4
	Validate, and Transmit	CBRCK22	7-4
Codabar Concatenation	*Off	CBRCCT0	7-4
	On	CBRCCT1	7-4
	Require	CBRCCT2	7-4
Codabar Message Length	Minimum (2 - 60) *4	CBRMIN##	7-5
	Maximum (2 - 60) *60	CBRMAX##	7-5
Code 39	Default All Code 39	C39DFT	7-5

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Code 39	Off	C39ENA0	7-5
	*On	C39ENA1	7-5
Code 39 Start/Stop Char.	*Don't Transmit	C39SSX0	7-5
	Transmit	C39SSX1	7-5
	*No Check Char.	C39CK20	7-6
Code 39 Check Char.	Validate, But Don't	C39CK21	7-6
	Validate, and Transmit	C39CK22	7-6
Code 39 Message Length	Minimum (0 - 48) *0	C39MIN##	7-6
	Maximum (0 - 48) *48	C39MAX##	7-6
Code 39 Append	*Off	C39APP0	7-7
	On	C39APP1	7-7
Code 32	*Off	C39B320	7-7
(PARAF)	On	C39B321	7-7
Code 39 Full ASCII	*Off	C39ASC0	7-8
	On	C39ASC1	7-8
Interleaved 2 of 5	Default All Interleaved 2	I25DFT	7-9
Interleaved 2 of 5	Off	I25ENA0	7-9
	*On	I25ENA1	7-9
	*No Check Char.	I25CK20	7-10
Interleaved 2 of 5	Validate, But Don't	I25CK21	7-10
	Validate, and Transmit	I25CK22	7-10
Interleaved 2 of 5 Length	Minimum (2 - 80) *4	I25MIN##	7-10
	Maximum (2 - 80) *80	I25MAX##	7-10
Code 93	Default All Code 93	C93DFT	7-11
Code 93	Off	C93ENA0	7-11
	*On	C93ENA1	7-11
Code 93 Message Length	Minimum (0 - 80) *0	C93MIN##	7-11
	Maximum (0 - 80) *80	C93MAX##	7-11
Straight 2 of 5	Default All Straight 2 of	R25DFT	7-12

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Straight 2 of 5 Industrial	*Off	R25ENA0	7-12
	On	R25ENA1	7-12
Straight 2 of 5	Minimum (1 - 48) *4	R25MIN##	7-12
Message Length	Maximum (1 - 48) *48	R25MAX##	7-12
Straight 2 of 5 IATA	Default All Straight 2 of	A25DFT	7-13
Straight 2 of 5 IATA	*Off	A25ENA0	7-13
	On	A25ENA1	7-13
Straight 2 of 5 IATA	Minimum (1 - 48) *4	A25MIN##	7-13
sage Length	Maximum (1 - 48) *48	A25MAX##	7-13
Matrix 2 of 5	Default All Matrix 2 of 5	X25DFT	7-13
Matrix 2 of 5	*Off	X25ENA0	7-13
	On	X25ENA1	7-13
Matrix 2 of 5 Message	Minimum (1 - 80) *4	X25MIN##	7-14
Length	Maximum (1 - 80) *80	X25MAX##	7-14
Code 11	Default All Code 11	C11DFT	7-14
Code 11	*Off	C11ENA0	7-14
	On	C11ENA1	7-14
Code 11 Check Digits	1 Check Digit	C11CK20	7-14
Required	*2 Check Digits	C11CK21	7-14
Code 11 Message Length	Minimum (1 - 80) *4	C11MIN##	7-15
	Maximum (1 - 80) *80	C11MAX##	7-15
Code 128	Default All Code 128	128DFT	7-15
Code 128	Off	128ENA0	7-15
	*On	128ENA1	7-15
ISBT Concatenation	On	ISBENA1	7-15
	*Off	ISBENA0	7-15
Code 128 Message	Minimum (0 - 80) *0	128MIN##	7-16
Length	Maximum (0 - 80) *80	128MAX##	7-16
Code 128 Code Page	Code 128 Code Page	128DCP	7-16

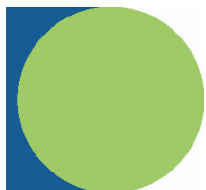
設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Code 128 Function Code	*Off	128FNX0	7-16
Transmit	On	128FNX1	7-16
ISBT Concatenation	*Off	ISBENA0	7-15
	On	ISBENA1	7-15
Telepen	Default All Telepen	TELDFT	7-17
Telepen	*Off	TELENA0	7-17
	On	TELENA1	7-17
Telepen Output	*AIM Telepen Output	TELOLD0	7-17
	Original Telepen Output	TELOLD1	7-17
Telepen Message Length	Minimum (1 - 60) *1	TELMIN##	7-17
	Maximum (1 - 60) *60	TELMAX##	7-17
UPC A	Default All UPC A	UPADFT	7-18
UPC A	Off	UPAENA0	7-18
	*On	UPAENA1	7-18
UPC A Check Digit	Off	UPACKX0	7-18
	*On	UPACKX1	7-18
UPC A Number System	Off	UPANSX0	7-18
	*On	UPANSX1	7-18
UPC A 2 Digit Addenda	*Off	UPAAD20	7-19
	On	UPAAD21	7-19
UPC A 5 Digit Addenda	*Off	UPAAD50	7-19
	On	UPAAD51	7-19
UPC A Addenda Required	*Not Required	UPAARQ0	7-19
	Required	UPAARQ1	7-19
UPC A Addenda	Off	UPAADS0	7-19
Separator	*On	UPAADS1	7-19
UPC E	Default All UPC E	UPEDFT	7-20
UPC E0	Off	UPEEN00	7-20
	*On	UPEEN01	7-20
UPC E1	*Off	UPEEN10	7-20
	On	UPEEN11	7-20

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
UPC E Expand	*Off	UPEEXP0	7-21
	On	UPEEXP1	7-21
UPC E Check Digit	Off	UPECKX0	7-21
	*On	UPECKX1	7-21
UPC E Number System	Off	UPENSX0	7-22
	*On	UPENSX1	7-22
UPC E 2 Digit Addenda	*Off	UPEAD20	7-22
	On	UPEAD21	7-22
UPC E 5 Digit Addenda	*Off	UPEAD50	7-22
	On	UPEAD51	7-22
UPC E Addenda Required	*Not Required	UPEARQ0	7-21
	Required	UPEARQ1	7-21
UPC E Addenda	Off	UPEADS0	7-21
Separator	*On	UPEADS1	7-21
EAN/JAN 13	Default All EAN/ JAN 13	E13DFT	7-22
EAN/JAN 13	Off	E13ENA0	7-22
	*On	E13ENA1	7-22
EAN/JAN 13 Check Digit	Off	E13CKX0	7-23
	*On	E13CKX1	7-22
EAN/JAN 13 2 Digit	*Off	E13AD20	7-23
Addenda	On	E13AD21	7-23
EAN/JAN 13 5 Digit	*Off	E13AD50	7-23
Addenda	On	E13AD51	7-23
EAN/JAN 13 Addenda	*Not Required	E13ARQ0	7-23
Required	Required	E13ARQ1	7-23
EAN/JAN 13 Addenda	Off	E13ADS0	7-24
Separator	*On	E13ADS1	7-24
ISBN Translate	*Off	E13ISB0	7-24
	On	E13ISB1	7-24
EAN/JAN 8	Default All EAN/ JAN 8	EA8DFT	7-24
EAN/JAN 8	Off	EA8ENA0	7-24
	*On	EA8ENA1	7-24

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
EAN/JAN 8 Check Digit	Off	EA8CKX0	7-25
	*On	EA8CKX1	7-24
EAN/JAN 8 2 Digit	*Off	EA8AD20	7-25
Addenda	On	EA8AD21	7-25
EAN/JAN 8 5 Digit	*Off	EA8AD50	7-25
Addenda	On	EA8AD51	7-25
EAN/JAN 8 Addenda	*Not Required	EA8ARQ0	7-25
Required	Required	EA8ARQ1	7-25
EAN/JAN 8 Addenda	Off	EA8ADS0	7-26
Separator	*On	EA8ADS1	7-26
Coupon Code	Off	CPNENA0	7-26
	*On	CPNENA1	7-20
MSI	Default All MSI Settings	MSIDFT	7-26
MSI	*Off	MSIENA0	7-26
	On	MSIENA1	7-26
MSI Check Character	*Validate Type 10, but	MSICHK0	7-26
	Validate Type 10 and	MSICHK1	7-26
MSI Message Length	Minimum (4 - 48) *4	MSIMIN##	7-27
	Maximum (4 - 48) *48	MSIMAX##	7-27
Plessey Code	Default All Plessey	PLSDFT	7-27
Plessey Code	*Off	PLSENA0	7-27
	On	PLSENA1	7-27
Plessey Message Length	Minimum (4 - 48) *4	PLSMIN##	7-27
	Maximum (4 - 48) *48	PLSMAX##	7-27
RSS-14	Default All RSS-14	RSSDFT	7-28
RSS-14	Off	RSSENA0	7-28
	*On	RSSENA1	7-28
RSS Limited	Default All RSS-14	RSLDFT	7-28
RSS Limited	Off	RSLENA0	7-28
	*On	RSLENA1	7-28

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
RSS Expanded	Default All RSS-14	RSEDFT	7-29
RSS Expanded	Off	RSEENA0	7-29
	*On	RSEENA1	7-29
RSS Expanded Msg. Length	Minimum (4 - 74) *4	RSEMIN##	7-29
	Maximum (4 - 74) *74	RSEMAX##	7-29
EAN-UCC Emulation	RSS Emulation	EANEMU2	7-29
	128 Emulation	EANEMU1	7-29
	*EAN-UCC Emulation Off	EANEMU0	7-29
China Post Code	Default All China Post	CPCDFT	7-30
China Post Code	*Off	CPCENA0	7-30
	On	CPCENA1	7-30
China Post Code Msg. Length	Minimum (2 - 80) *4	CPCMIN##	7-30
	Maximum (2 - 80) *80	CPCMAX##	7-30
Korea Post Code	Default All Korea Post	KPCDFT	7-31
Korea Post Code	*Off	KPCENA0	7-31
	On	KPCENA1	7-31
Korea Post Code Msg. Length	Minimum (2 - 80) *4	KPCMIN##	7-31
	Maximum (2 - 80) *48	KPCMAX##	7-31
PosiCode	Default All PosiCode	POSDFT	7-31
PosiCode	Off	POSENA0	7-31
	*On	POSENA1	7-31
	A and B On	POSLIM0	7-32
	A and B and Limited A On	POSLIM1	7-32
	*A and B and Limited B On	POSLIM2	7-32
PosiCode Msg. Length	Minimum (2 - 80) *4	POSMIN##	7-32
	Maximum (2 - 80) *48	POSMAX##	7-32
Trioptic Code	*Off	TRIENA0	7-32
	On	TRIENA1	7-32
Codablock F	Default All Codablock F	CBFDFT	7-33

設定項目	選択項目 * 表示は初期設定です	Serial Command # Indicates a numeric entry	参照ページ
Codablock F	*Off	CBFENA0	7-33
	On	CBFENA1	7-33
Codablock F Msg. Length	Minimum (1 - 2048) *1	CBFMIN####	7-33
	Maximum (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	7-33
Code 16K	Default All Code 16K	16KDFT	7-33
Code 16K	*Off	16KENA0	7-34
	On	16KENA1	7-34
Code 16K	Minimum (0 - 160) *1	16KMIN###	7-34
	Maximum (0 - 160) *160	16KMAX###	7-34
Code 49	Default All Code 49	C49DFT	7-34
Code 49	Off	C49ENA0	7-34
	*On	C49ENA1	7-34
Code 49	Minimum (1 - 81) *1	C49MIN##	7-35
	Maximum (1 - 81) *81	C49MAX##	7-35



Appendix A (付録 A)

シンボルチャート (バーコードの種類)

Symbology	Code ID	AIM ID	Hex ID	Symbology	Code ID	AIM ID	Hex ID
China Post	Q]X0	51	IATA 2 of 5	f]Rm	66
Codabar(NW-7)	a]Fm	61	Interleaved 2 of 5	e]Im	65
Codablock F	q]Om	71	Korea Post	?]X0	3F
Code 2 of 5	f]Rm	66	Matrix 2 of 5	m]X0	6D
Code 11	h]Hm	68	MSI	g]Mm	67
Code 16K	o]Km	6F	No Read			9C
Code 39	b]Am	62	Plessey Code	n]P0	6E
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	<]X0	3C	PosiCode	W]pm	57
Code 49	l]Tm	6C	Reduced Space Symbology (RSS-14, RSS Limited, RSS Expanded)	y]em	79
Code 93	i]Gm	69	Telepen	t]Bm	74
Code 128	j]Cm	6A	Trioptic Code	=]X0	3D
UCC/EAN-128	l]C1	49	UPC-A	c]E0	63
EAN/JAN-8	D]E4	44	UPC-A with Extended Coupon Code	c]E3	63
EAN/JAN-13	d]E0	64	UPC-E	E]E0	45
EAN-13 with Extended Coupon Code	d]E3	64	All Symbologies (全ての種類)			99

バーコードの種類を設定する場合はシンボルチャートの「HexID」の値を設定します。

例：Code39に設定する場合、値は「62」
 Code128に設定する場合、値は「6A」
 全ての種類のバーコードに設定する場合、値は「99」

よく使われているバーコードの種類は青枠で示しています。

ASCII Conversion Chart (アスキー換算チャート)

文字 (キャラクタ、 Char) を設定する場合の値は「 Hex」を参照します。

例 「 A」を設定する場合、値は「 41」

「 f」を設定する場合、値は「 66」

「 -」を設定する場合、値は「 2D」

Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char
0	00	NUL	32	20		64	40	@	96	60	'
1	01	SOH	33	21	!	65	41	A	97	61	a
2	02	STX	34	22	"	66	42	B	98	62	b
3	03	ETX	35	23	#	67	43	C	99	63	c
4	04	EOT	36	24	\$	68	44	D	100	64	d
5	05	ENQ	37	25	%	69	45	E	101	65	e
6	06	ACK	38	26	&	70	46	F	102	66	f
7	07	BEL	39	27	'	71	47	G	103	67	g
8	08	BS	40	28	(72	48	H	104	68	h
9	09	HT	41	29)	73	49	I	105	69	i
10	0A	LF	42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
11	0B	VT	43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
12	0C	FF	44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
13	0D	CR	45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
14	0E	SO	46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
15	0F	SI	47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
16	10	DLE	48	30	0	80	50	P	112	70	p
17	11	DC1	49	31	1	81	51	Q	113	71	q
18	12	DC2	50	32	2	82	52	R	114	72	r
19	13	DC3	51	33	3	83	53	S	115	73	s
20	14	DC4	52	34	4	84	54	T	116	74	t
21	15	NAK	53	35	5	85	55	U	117	75	u
22	16	SYN	54	36	6	86	56	V	118	76	v
23	17	ETB	55	37	7	87	57	W	119	77	w
24	18	CAN	56	38	8	88	58	X	120	78	x
25	19	EM	57	39	9	89	59	Y	121	79	y
26	1A	SUB	58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
27	1B	ESC	59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
28	1C	FS	60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
29	1D	GS	61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
30	1E	RS	62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
31	1F	US	63	3F	?	95	5F	_	127	7F	

プログラミングチャート



A



C



E



0



2



4



6



8



Save
保存して終了



B



D



F



1



3



5



7



9



Discard
設定中止

付録

よく使う設定

インターフェースの設定

*USB キーボード(英語キーボード配列)



USB キーボード(日本語キーボード配列)



PS/2 キーボード(日本語キーボード配列)



サフィックスの設定

バーコードデータの後に付加するキーの設定

CR(ENTER)を付加する



TABを付加する



*サフィックスをクリア(消去)する



トリガーの設定

*マニュアルトリガーモード



(トリガーを押して読み取り)

プレゼンテーションモード



(スタンドに置いて自動読み取り)

初期設定のリセット

スキャナが工場出荷時の設定(*記号のパラメータ)に戻ります



付録

補足説明「アウトプットシーケンス」について

対象機種	3800G04E-*** (バーコードリーダー) IT4206GHD051C-*** (二次元バーコードリーダー)
内容	本書はユーザーズガイド「第3章 出力-アウトプットシーケンス」について例示し、補足説明する資料です。 アウトプットシーケンスを設定することで、パソコンに出力するデータの順番を設定することができます。

設定例

サンプル

Code39 のデータ : CODE39-123

Code128 のデータ : Code128-456



設定例

【出力例 1 Code39、Code128 の順番で出力する】

データ	Code39 : CODE39-123、Code128 : Code128-456
編集設定後の出力データ	CODE39-123 <Enter> Code128-456 <Enter> <Enter>はサフィックスに Enter が設定されている場合に出力し ます

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Sequence	シーケンス設定開始
62	シーケンス適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
FF	最初のコードの終了。
6A	シーケンス適用コード種別を設定。 "6A"=Code128。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
FF	2つめのコードの終了。
Save	設定終了
Required	アウトプットシーケンス条件を設定する。 "Required"=条件必須。 他の条件 (JAN などの異なるバーコードも読む) 場合は "On/Not Required"をスキャンします。

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「62」は「6」,「2」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

バーコードの種類を設定する HEX 値(xx)は「付録 A シンボルチャート」を参照して下さい。

【出力例 2 Code39、TAB、Code128、ENTER の順番で出力する】

データ	Code39 : CODE39-123、Code128 : Code128-456
編集設定後の出力データ	CODE39-123 <Tab> Code128-456 <Enter>
備考	この設定は「サフィックス」の設定と組み合わせた設定です。 最初にアウトプットシーケンスの設定を行います。 次に、「第 4 章 データ編集 サフィックス」の設定を行います。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Sequence	シーケンス設定開始
62	シーケンス適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
FF	最初のコードの終了。
6A	シーケンス適用コード種別を設定。 "6A"=Code128。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
FF	2 つめのコードの終了。
Save	設定終了
Required	アウトプットシーケンス条件を設定する。 "Required"=条件必須。 他の条件 (JAN などの異なるバーコードも読む) 場合は "On/Not Required"をスキャンします。
Add Suffix	サフィックスの追加
62	"62"=Code39
09	"09"=TAB
Save	保存して終了
Add Suffix	サフィックスの追加
6A	"6A"=Code128
0D	"0D"=Enter (CR)
Save	保存して終了

TAB などのファンクションキーの HEX 値 (xx) については、「サポートされるインターフェースキー」を参照して求めます。

バーコードの種類を設定する HEX 値 (xx) は「付録 A シンボルチャート」を参照して下さい。

付録

補足説明「ビデオリバース」について

対象機種	3800G04E-*** (ロングレンジ CCD バーコードリーダー) IT4206GHD051C-*** (二次元バーコードリーダー)
内容	本書はユーザーズガイド 第3章 の「出力-ビデオリバース」について例示し、補足説明する資料です。

【説明】

ビデオリバースは黒と白が反転（リバース）の状態のバーコードについての読み取り設定です。

許可を設定すると、黒と白が反転したバーコードを読み取ります。

禁止を設定すると、黒と白が反転したバーコードを読み取りません。

デフォルトは禁止です。

注1：3800G04E は許可で通常のバーコードと反転バーコードを読み取ります。

注2：IT4206 はいずれの設定でも反転した二次元バーコードを読み取ります。

【パラメータと読み取りの関係】

型番	ビデオリバース 許可				ビデオリバース *禁止			
	バーコード		二次元 バーコード		バーコード		二次元 バーコード	
	通常	反転	通常	反転	通常	反転	通常	反転
3800G04E			-	-		-	-	-
IT4206GHD	-					-		

通常：通常のバーコード 反転：黒と白が反転したバーコード

：読み取ります -：読み取りません

付録

補足説明「データフォーマットエディタ」について

内容	本書はユーザズガイドの「データフォーマットエディタ」について例示し、補足説明する資料です。
----	---

サンプル1

出力例 1 ~ 4 を参照

バーコードの種類 : Code39

データ : 123ABCD890 (10 文字)



サンプル2

出力例 5 を参照

バーコードの種類 : Code39



設定例

【出力例 1 データの途中から出力する】

元データ (Code39)	123ABCD890
編集設定後の出力データ	ABCD890
編集の内容	カーソル位置を 3 文字移動し、そこから (4 文字から) 全てのデータを出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
134	インターフェースを設定。 "134"=日本語 Windows USB キーボードインターフェース。 "102"=日本語 PS/2 キーボードインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
03	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=カーソルを 3 文字移動。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

【出力例 2 データの途中まで出力する】

元データ (Code39)	123ABCD890
編集設定後の出力データ	123ABCD
編集の内容	現在のカーソル位置から、最後の 3 文字を除く全ての文字を出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
134	インターフェースを設定。 "134"=日本語 Windows USB キーボードインターフェース。 "102"=日本語 PS/2 キーボードインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。"9999"=スキャナが読める最大文字数。
E9	送信コマンド。現在のカーソル位置から最後の nn (文字数) を除いた全ての文字を送信する。コマンド指定方法 "E9nn"
03	E9 コマンドの nn 部。文字数を指定。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

【出力例 3 データの中間を抽出する】

元データ (Code39)	123ABCD890
編集設定後の出力データ	ABCD
編集の内容	カーソル位置を 3 文字の後に移動し、そこから (4 文字目から) 4 文字を出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
134	インターフェースを設定。 "134"=日本語 Windows USB キーボードインターフェース。 "102"=日本語 PS/2 キーボードインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
03	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=カーソルを 3 文字移動。
F2	送信コマンド。現在のカーソル位置から xx キーの後に続く nn(文字数) を送信する。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。
00	F2 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

【出力例 4 データの中間にキャラクタ（およびファンクションキー）を挿入する】

元データ(Code39)	123ABCD890
編集設定後の出力データ	123 (TAB キー) ABCD890
編集の内容	3文字出力した後、TAB キーを1回挿入。そこから(4文字目から)全ての文字を出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
134	インターフェースを設定。 "134"=日本語 Windows USB キーボードインターフェース。 "102"=日本語 PS/2 キーボードインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F2	送信コマンド。現在のカーソル位置から xx キーの後に続く nn(文字数)を送信する。コマンド指定方法"F2nnxx"
03	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"03"=3文字出力。
00	F2 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
F4	送信コマンド。現在のカーソル位置はそのまま xx キーを nn 回を送信する。コマンド指定方法"F4xxnn"
09	F4 コマンドの xx 部。Hex を指定。"09"=TAB
01	F4 コマンドの nn 部。回数を指定。"01"=1回出力。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

TAB などのファンクションキーの HEX 値(xx)については、「サポートされるインターフェースキー」を参照して求めます(本書巻末)。文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

【出力例 5 指定した文字を無効にして（削除して）出力する】

元データ(Code39)	12345-ABCD、123-ABCD-890 など不特定位置に「-」がある
編集設定後の出力データ	12345ABCD、123ABCDEF、・・・
編集の内容	「-」を無効にする（削除する）

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
134	インターフェースを設定。 "134"=日本語 Windows USB キーボードインターフェース。 "102"=日本語 PS/2 キーボードインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F3	送信コマンド。現在のカーソル位置から ss(検索/送信)まで送信する。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まる。コマンド指定方法"F3ssxx"
2D	F3 コマンドの ss 部。検索キャラクタを指定。"2D"="-"
00	F3 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
F8	検索コマンド。現在のカーソル位置より前方にある xx を検索し、カーソルは xx に移動する。コマンド指定方法"F8xx"
2D	F8 コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"
FB	無効コマンド。現在のカーソル位置から最大 15 文字を無効にする。コマンド指定方法"FBnnxyy..zz"
01	FB コマンドの nn 部。無効にする文字数を指定。"01"=1 文字。
2D	FB コマンドの xx 部。無効にする文字を指定。"25"="-"
E9	送信コマンド。現在のカーソル位置から最後の nn（文字数）を除いた全ての文字を送信する。コマンド指定方法"E9nn"
00	E9 コマンドの nn 部。文字数を指定。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください（「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります）。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

【出力例 6 指定した文字を他の文字やファンクションキーに置換して出力する】

元データ (Code128)	123-ABCD-abcd
編集設定後の出力データ	123 TAB ABCD TAB abcd
編集の内容	「-」を Tab キーに置換する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。 "099"=全てのインターフェース。
6A	フォーマット適用コード種別を設定。 "6A"=Code128。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
E4	置換コマンド。コマンド指定方法"E4nnxx ₁ xx ₂ yy ₁ yy ₂ ..."
02	E4 コマンドの nn 部。置換前と置換後のキャラクタの合計数。 キャラクタは xx ₁ と xx ₂ の 2 つとなるため値は"02"。
2D	E4 コマンドの xx ₁ 部。置換前のキャラクタを指定。"2D"="-"。
09	E4 コマンドの xx ₂ 部。置換後のキャラクタを指定。"09"="HT"。 HT はインターフェースキーとしてサポートされ、TAB キーとして出力します。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

【出力例 7 文字の順番を入れ替える。また、ファンクションキーを挿入して出力する】

元データ(Code128)	1234ABCDefgh
編集設定後の出力データ	ABCD TAB efgh TAB 1234 ENTER
編集の内容	文字の順番を入れ替えて、TAB キーを挿入する。 データの最後に ENTER キーを出力する

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。 "099"=全てのインターフェース。
6A	フォーマット適用コード種別を設定。 "6A"=Code128。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F5	移動コマンド。コマンド指定方法"F5nn"
04	F5 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字進める。 出力位置は 4 文字進んで「A」となります。
F2	送信コマンド。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。 「ABCD」を出力します。
09	F2 コマンドの xx 部。HEX を指定。"09"="HT"。 HT はインターフェースキーとしてサポートされ、TAB キーとして出力します。
F1	送信コマンド。コマンド指定方法"F1xx" 出力位置は「e」です。「efgh」(残りを全て)を出力します。
09	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。"09"="HT"。
F7	移動コマンド。カーソルをデータの先頭に移動します。 出力位置はデータ先頭の「1」に戻ります。
F2	送信コマンド。コマンド指定方法"F2nnxx"
04	F2 コマンドの nn 部。文字数を指定。"04"=4 文字出力。 「1234」を出力します。
0D	F2 コマンドの xx 部。HEX を指定。"0D"="CR"。 CR はインターフェースキーとしてサポートされ、ENTER キーとして出力します。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

【出力例 8 指定した文字の前までを出力する】

元データ(Code39)	1234-ABCD、56-EFGHIJ など不特定位置に“-”がある
編集設定後の出力データ	1234、56
編集の内容	“-”(ハイフン)よりも前のデータを出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。 "099"=全てのインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F3	送信コマンド。現在のカーソル位置から、「ss」キャラクタ(検索/送信)の前までを送信します。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まります。 コマンド指定方法"F3ssxx"
2D	F3 コマンドの ss 部。Hex を指定。"2D"="-" (ハイフン)。
00	F3 コマンドの xx 部。指定がない場合は"00"。 参考：ここで Hex の"0D"を指定すると ASCII の"CR"が設定されます。CR はインタフェースキーとしてサポートされ、Enter キーが出力されます。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください(「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります)。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

【出力例 9 指定した文字の後を出力する】

元データ(Code39)	1234-ABCD、56-EFGHIJ など不特定位置に“-”がある
編集設定後の出力データ	ABCD、EFGHIJ
編集の内容	“-”（ハイフン）よりも後のデータを出力する。

【読み取る設定バーコードの順番】

設定用バーコード	意味
Enter Data Format	データフォーマットの設定開始
0	フォーマット番号を設定。"0"=基準のフォーマット
099	インターフェースを設定。 "099"=全てのインターフェース。
62	フォーマット適用コード種別を設定。 "62"=Code39。"99"=全種類のバーコード。
9999	読み取り可能なバーコードの長さを設定。 "9999"=スキャナが読める最大文字数。
F8	検索コマンド。現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。 コマンド指定方法"F8xx"
2D	F8 コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"（ハイフン）。
FE	その他のコマンド。現在のカーソル位置のキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。コマンド指定方法"FExx"
2D	FE コマンドの xx 部。Hex を指定。"2D"="-"（ハイフン）。
F1	送信コマンド。現在の位置から xx キーの後に続く全てのデータを出力する。コマンド指定方法"F1xx"
00	F1 コマンドの xx 部。Hex を指定。指定がない場合は"00"。 参考：ここで Hex の"0D"を指定すると ASCII の"CR"が設定されます。CR はインタフェースキーとしてサポートされ、Enter キーが出力されます。
Save	設定終了

英数字の部分は「プログラミングチャート」から順番に英数バーコードを読み取ってください（「134」は「1」、「3」、「4」と読み取ります）。パラメータの意味ごとに区切って表示しています。Save まで連続で読み取ってください。

文字キャラクタの HEX 値(xx)は「付録 A アスキー換算チャート」から求めます。

付録

補足説明 「USB COMポート エミュレーション」について

1.USBの通信設定について

対象機種	3800G04E-USB
説明	<p>[説明 1] USBキーボード スキャナは出荷時に USB キーボードに設定（デフォルト）されています。 スキャナは USB キーボードデバイスとしてコンピュータに認識されます。 ホストシステムのHIDクラスドライバで動作します。ホストがデバイスドライバを自動検索し、インストールを実行します。 Windowsのデバイスマネージャには「USBヒューマンインターフェースデバイス」として表示されます。</p> <p>[説明 2] USB Com Port Emulation (USB Comポートエミュレーション) スキャナを USB Com Port Emulation に設定すると USB シリアルデータ伝送（仮想 RS-232C）デバイスとしてコンピュータに認識されます。 ドライバファイル（USB Serial Emulation Driver）がコンピュータに必要になります。 Windows のデバイスマネージャには「通信ポート」直下の「COM ポート(3800G Linear Imager)」として表示されます。 設定方法は次項をご覧ください。</p> <p><ドライバ配布 URL> http://www.honeywellaidc.com/</p> <p><ドライバファイル名> Honeywell Scanning and Mobility (HSM) USB serial driver (2010 年 9 月現在)</p> <p>ご注意 コンピュータにドライバファイルが無い状態で設定すると、スキャナは認識されず動作しなくなりますのでご注意ください。 もし動作しなくなったら、スキャナを再接続して「USBキーボード」メニューをスキャンし、正常に赤色光が投光するように設定してください。</p>

USB 通信設定（択一）

*USB キーボード (USA キーボードレイアウト)



- P A P 1 2 4 .
(デフォルト)

USB Com Port Emulation



- T E R M I D 1 3 0 .

USB キーボード (日本語キーボードレイアウト)



- T E R M I D 1 3 4 .

2.USB のモード確認

Windows のデバイスマネージャを見ると、接続しているバーコードスキャナーの USB のモードを確認できます。

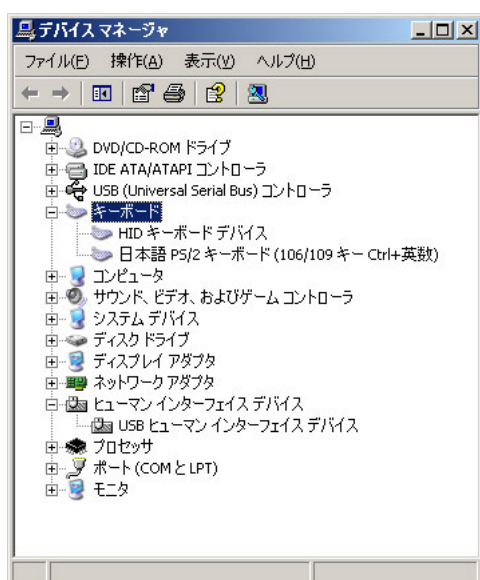
デバイスマネージャの起動方法

[スタート]-([設定)]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]

(1)USB キーボード (US キー配列、日本語キー配列ともに)

デフォルト設定です。どなたにでも簡単に扱える標準の動作モードです。

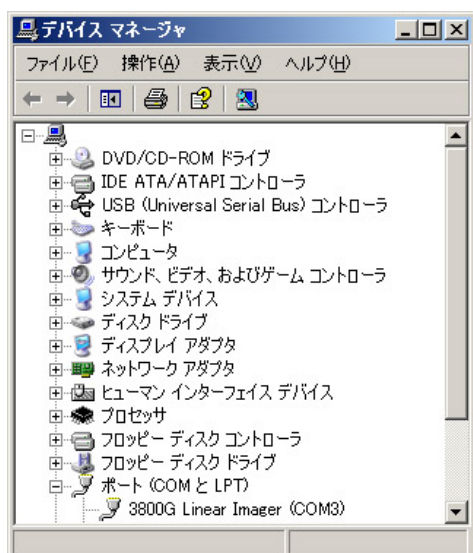
バーコードスキャナーは「HID キーボードデバイス」「USB ヒューマンインターフェース」として Windows に認識されます。



(2)USB Com Port Emulation Mode

システム開発者向けの動作モードです。

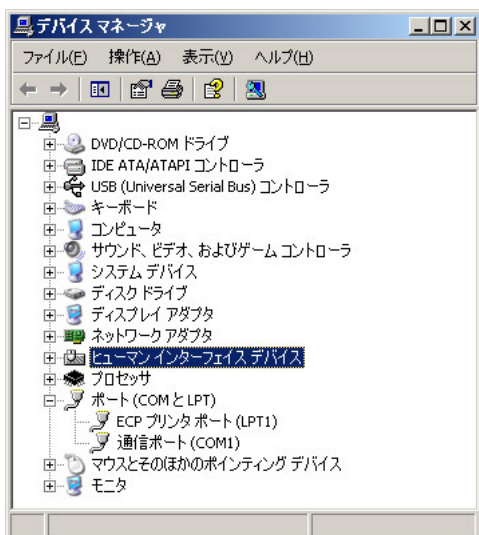
バーコードスキャナーは「(通信)ポート」に接続されたシリアル通信 (RS-323C) 機器として Windows に認識されます。USB Com Port Emulation Mode ではシリアルデータ伝送 (RS-232C) でデータが出力されます。データの受信には HEX、ASCII の受信に対応したアプリケーション (ライブラリなど) が必要です。



3.USB Com Port Emulation の設定

(1)接続前の確認

Windows のデバイスマネージャを確認し、ポート (COM) が何個まで表示されているか確認してください。
RS-232C (D-Sub9Pin) を 1 つ実装したコンピュータは、通常は「通信ポート (COM1)」が表示されています。



"USB Com Port Emulation"の接続を行うと、仮想 COM ポートが新しく作成されます。(COM3 など)

(2)設定手順

ドライバについて

- * サポートする機器 : 3800g (注) このドライバは現在 IT4206 に未対応です。
- * サポートする動作環境 : Windows7 - 32bit 版及び、64bit 版、WindowsXP - 32bit 版及び、64bit 版
- * 以下もサポートしますが、WHQL(Windows Hardware Quality Labs)認定ではありません。Windows Vista - 32bit 版及び、64bit 版、Windows2000

ドライバのインストール手順

1. 既にインストールされている Honeywell USB シリアルドライバーをアンインストールしてください。
2. ドライバのファイルを解凍し、異なる 2 種類のファイルがある事を確認してください。

Install_86.bat 32 ビットオペレーティングシステムへのインストール用

Install_64.bat 64 ビットオペレーティングシステムへのインストール用

ご注意 :

Windows Vista もしくは、Windows7 にインストールする場合は、アドミニストレータ権限をもっているか、アドミニストレータのパスワードが必要になります。

3. インストールを実行するには、適切な Install_xx.bat ファイルをダブルクリックするか、以下の
ようにコマンドプロンプトを開いてください。

スタート (すべての) プログラム アクセサリ コマンドプロンプト

4. もしコマンドプロンプト経由でインストールする場合は、ドライバファイルを解凍したロケーション
に変更し、オペレーティングシステムに適したバッチファイルを起動してください。インストール
の実行には、.bat のファイル名を入力する必要があります。

ご注意：

Windows Vista や Windows7 での、「このコンピュータへの変更を許可しますか？」という、Windows
標準のメッセージを避けるには、アドミニストレータとしてコマンドプロンプト経由でインストール
する必要があります。

スタート (すべての) プログラム アクセサリ コマンドプロンプトで右クリックし、「管理者と
して実行」を選択してください。コマンドプロンプトウィンドウのタイトルに、「管理者：コマンド
プロンプト」と表示されます。

5. サポートされている機器を接続してください。ドライバが自動でインストールされます。
6. 説明書の設定バーコード「USB COM Port Emulation」をスキャナで読み取ってください。

ドライバのアンインストール手順

1. 解凍したドライバファイルのフォルダーの中に、異なる 2 種類のアンインストールファイルがある
事を確認してください。

Uninstall_86.bat 32 ビットオペレーティングシステムのアンインストール用

Uninstall_64.bat 64 ビットオペレーティングシステムのアンインストール用

ご注意：

Windows Vista もしくは、Windows7 でのアンインストールは、アドミニストレータ権限をもってい
るか、アドミニストレータのパスワードが必要になります。

2. アンインストールを実行するには、適切な Uninstall_xx.bat ファイルをダブルクリックするか、
以下のようにコマンドプロンプトを開いてください。

スタート (すべての) プログラム アクセサリ コマンドプロンプト

3. もしコマンドプロンプト経由でアンインストールする場合は、ドライバーファイルを解凍したロケ
ーションに変更し、オペレーティングシステムに適したバッチファイルを起動してください。アン
インストールの実行には、.bat のファイル名を入力する必要があります。

ご注意：

Windows Vista や Windows7 での、「このコンピュータへの変更を許可しますか？」という、Windows 標準のメッセージを避けるには、アドミニストレータとしてコマンドプロンプト経由でアンインストールする必要があります。

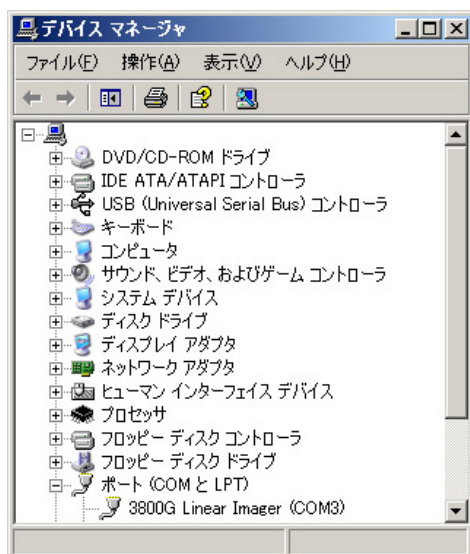
スタート (すべての)プログラム アクセサリ コマンドプロンプトで右クリックし、「管理者として実行」を選択してください。コマンドプロンプトウィンドウのタイトルに、「管理者：コマンドプロンプト」と表示されます。

既知の問題

- * 「Force COM port feature」が有効になっている時、インストール直後は、ポートは COM 番号を得ることができません。次のドライバーが開始される時に付加されます。
- * WindowsXP SP2 を使用している場合、サスペンドから復帰する時にブルー画面が発生する場合があります。WindowsXP SP3 もしくは、Windows の Hot Fix 949483 を適用してください。
<http://support.microsoft.com/hotfix /KBHotfix.aspx?kbnm=949483&kbIn=en-us>
- * Windows2000 上で、最初にバーコードをスキャンしてもデータが送信されません。これは 2000 の USB スタックに起因します。Windows2000 はサポートを終了しており、Microsoft 社がこのバグ修正をする事は期待できません。

例

例では仮想 COM ポート「COM3」にスキャナ「3800G Linear Imager」が接続されています。



以上で設定は完了です。

4. 使用方法

(1)

ご使用の RS-232C 受信ソフトを起動します。

受信ソフトの COM の番号をスキャナの COM の番号に変更します。

受信ソフトについては受信ソフトの説明書などをご覧ください。

(2)

Visual Basic で開発する場合は RS-232C 通信の関数 (MSComm) を使用するが、RS-232C 通信のライブラリを入手してご使用ください。

(3)

簡単な動作確認の方法として、Windows XP 標準アクセサリの「ハイパーターミナル(RS232C モデムソフト)」を使用できます。

ハイパーターミナルの起動方法

[スタート]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]

[例]

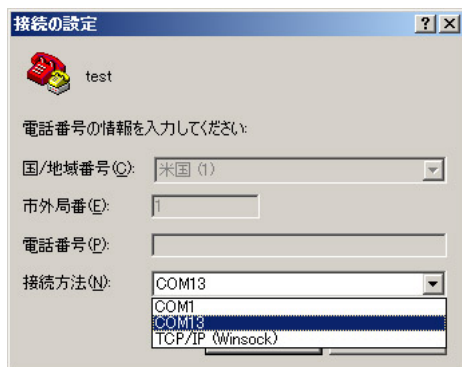
(1)ハイパーターミナル起動直後 任意の名前をつけます。



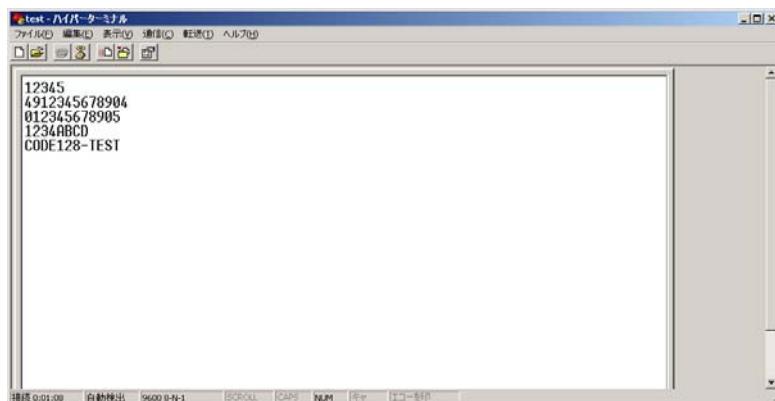
(2) 「ポートの設定」パラメータは任意で設定してください。



(3) 「接続方法」をバーコードスキャナーのCOMポートに合わせてください。



(4) 設定が完了したら、モニタ画面が表示されます。バーコードを読み取ってデータのモニタリングができます。



重要 スキャナの取り外しについて

USB COMポートエミュレーションに設定したスキャナのUSBケーブルをコンピュータから取り外す場合は、先にコンピュータの通信ポート「COM」をクローズ（切断）してください。スキャナの読み取りデータを入力するアプリケーションを実行しているときは、COMをオープン（接続）したままで取り外さないでください。

コンピュータの仕様上、COMがオープン（接続）したままでデバイスを取り外すと、コンピュータやアプリケーションのエラーが発生することがあります。

COMをクローズする方法はコンピュータの環境（スキャナのデータを入力するアプリケーション）に依存しますのでシステムご担当者などにお問い合わせください。例えば次の手順でCOMをクローズします。

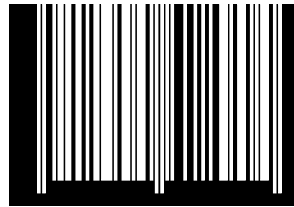
- ・ アプリケーションからCOMポートをクローズする。（アプリケーションの画面にCOMクローズのボタンなどがある環境）
- ・ スキャナを使用するアプリケーションを終了してCOMをクローズ（切断）してください。（アプリケーション本体またはアプリケーション中のデータ入力画面の終了とともにCOMをクローズする環境）

付録

サンプルバーコード

左側が通常のシンボル、右側が黒と白が反転したシンボルです。

JAN-13(EAN-13)



Code39



Codabar (NW-7)



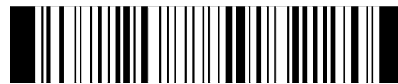
Interleaved2of5



Code128



UCC/EAN-128



RSS (各バージョンそれぞれのデータは 011234567890)

RSS-14



RSS-Limited



RSS-Expanded

